

# 総合子ども学科 学生の音楽経験と既知曲の傾向

——2012 年度～2015 年度 アンケート調査による比較分析——

衣 川 久美子・山 崎 和 子

由 井 敦 子・坂 井 康 子

## Changes in Students' Familiarity with Music Songs and their Experiences in Music Childhood Education Department of Konan Women's University

—An analysis of questionnaire surveys through 2012 to 2015—

KINUGAWA Kumiko, YAMASAKI Kazuko, YOSHII Atsuko and SAKAI Yasuko

**Abstract:** It's the 10<sup>th</sup> anniversary of the establishment of Childhood Education Department of Konan Women's University. To take an opportunity of the event, comparative analyses were conducted to grasp students' trend through 10 years. Since the opening of the department, questionnaire surveys to new students have been implemented in "Instrumental and Singing Training" courses. Surveys were to acknowledge students' past experiences in music and their familiar songs. 10 years' accumulated data on "students' musical experiences" were divided to three periods and data from each period was comparatively analyzed to grasp any changes of the time. Data on "familiar songs" were divided to two periods, one on year 2012 and the other from year 2013 to 2015. On this, focuses of analysis were on students' concerns when performing "sing-plays". Incremental changes have been recognized in recent years both in the choice of songs in nursery/elementary school classrooms and in general nature of students in the department. Therefore yearly improvements on courses have been made through elaboration on teaching techniques. Based on the two analyses, further research will be conducted to build a new guideline for teaching "Instrumental and Singing Training" courses.

**要旨:**「器楽・声楽」の授業では、学科開設当初から学生の音楽経験をつかむために、入学時アンケート調査を行ってきた。総合子ども学科開設 10 周年を機に、この 10 年を把握しておくため、これまでの学生の音楽的背景の変化を過去の結果と合わせて 3 期に分けて比較分析した。

また、2012 年度の既知曲のアンケートの結果を土台にし、2013 年度～2015 年度の既知曲の傾向や弾き歌いに関する意識などを 2 期に分けて比較分析した。

近年、保育・教育現場での子どもの歌の傾向や、学生の気質などが少しずつ変化している。そのため、毎年授業の改善や指導法の工夫や研究を行ってきたが、今回の 2 つの分析結果を踏まえて「器楽・声楽」の新たな指針を見つけていきたい。

## I はじめに

甲南女子大学人間科学部総合子ども学科では、保育

士、幼稚園教諭、小学校教諭の養成のため、弾き歌い、リズム曲、教則本などのピアノ演奏を中心とした授業「器楽・声楽Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ（Ⅰ・Ⅱは必修、Ⅲは選択授業）」をそれぞれ 1 年、2 年、3 年時に半期ずつ設

定している。この「器楽・声楽」の授業は、2種のグループ授業を組み合わせ、非常勤講師を含む8人の教員によって担当しており、毎年全担当教員によって検討・改善が重ねられている。「器楽・声楽」は、本学科の音楽に関連する授業「保育内容の研究（音楽表現）」「初等教科教育法（音楽）」「保育の表現技術」の基盤となる授業として位置付けられており、保育・教育の基本的技術を向上させる指導において最大限の成果をあげるために、個々の学生の実態をつかむことが必須である。

2006年に本学科が開設されて以来、この「器楽・声楽」の授業について「坂井ほか2009」、「衣川ほか2013, 2014, 2016」を著して示してきた。本稿では、次章第Ⅱ章において、学生の実態調査による2006～2013年の経年変化についてまとめた「衣川ほか2014」以降継続しておこなっている、入学時の音楽経験を主に問うアンケート調査をそれまでの調査と比較考察する。

本稿第Ⅲ章では、歌唱教材の認知度を明らかにすべく2012年度からおこなってきている「子どもの歌（歌唱教材）の既知曲」を問うアンケート調査の結果を分析し、学生の実態を明らかにする。このアンケート調査は2年時の6月に実施しており、歌唱教材の既知曲を問うものである。

この二つのアンケート調査を分析することにより本学学生の音楽に関する実態を詳らかにする。

## Ⅱ 学生の音楽学習経験

Ⅱ章では「学生の音楽学習経験」の分析結果を示し、考察する。「音楽学習等に関するアンケート」は資料1に示している。前研究では2006年度～2013年度までの8年間のアンケートを分析した。今回は、前研究を土台にして、学科開設10年間の学生の実態を俯瞰し、変化の実態を掴むために、2006年～2011年度、2012年度、2013年～2015年度の三区分に別けて分析を行った。この年度区分は、Ⅲ章で扱う既知曲の研究の分類と関連付けて述べるために、Ⅲ章の区分に合わせ、あえて2012年度を分けて分析した。年度比較をするために、2006年～2011年度、2013年～2015年度については平均値で表している。

2014年度、2015年度のアンケートにおいて新たに加えた質問項目は、本稿1節「高校での音楽の履修年数」、6節「演奏できる楽器と鍵盤楽器所持の状況」、7節「ピアノ・弾き歌いの質問と不安」である。

### 1. 高校での音楽の履修

「高校での音楽の履修」について述べる。図1に見るように、3期に分けてみると、10年間で4%の増加が見られた。学生の約7割が高校3年間のいずれかの時期に音楽を履修している現状は、保育・教育への進路のためには音楽の素養が必要であると、学生が自覚していることを感じさせられる。また、2014年度・2015年度のみ実施した図2「高校での音楽の履修年数」の調査を見ると、「音楽」・「美術」・「書道」の科目から1教科を選択する高校1年生で、音楽を選択している学生が本学科において半数近く見られることも、興味深い傾向である。高校での芸術系科目においては、通常授業としては1年生のみの選択授業と設定している高校が多い中で、高校3年間を通して音楽を履修した学生が2014年度・2015年度の平均で24%という結果が得られた。アンケートの中で、高校の授業においてピアノを習ったとの記述も見られたが、保育系のコースを設ける高校が増加傾向にあることが影響しているのではないと思われる。今後の動向を見ていきたい。

### 2. 小学校・中学校・高校での音楽系クラブ経験の有無

「小学校・中学校・高校での音楽系クラブ経験の有無」について述べる。図3に見るように、本学科に入学する学生の1/3以上が、大学へ入学するまでに、小学校・中学校・高校のどこかで何らかの音楽系クラブ

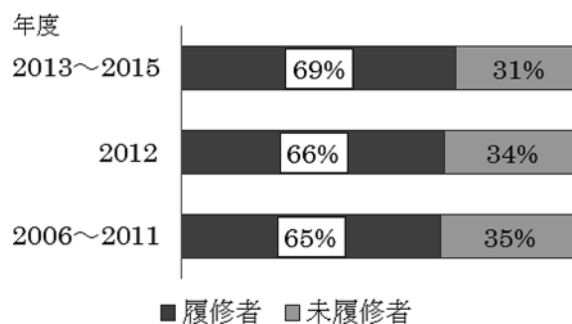


図1 高校での音楽の履修

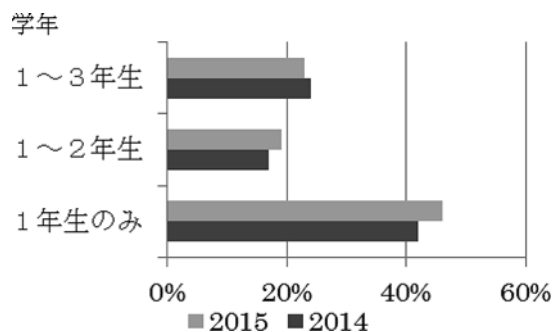


図2 高校での音楽の履修年数（2014・2015年度のみ）

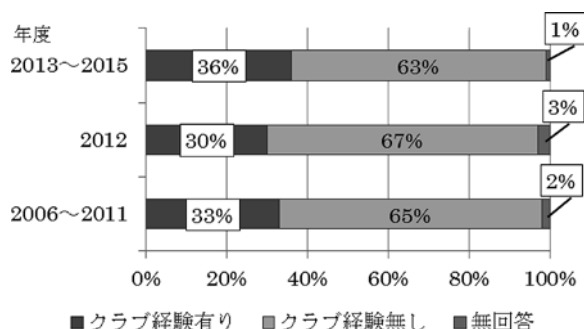


図3 小学校・中学校・高校での音楽系クラブ経験の有無

を経験しているということが明らかである。次節の「高校での音楽系クラブ経験の有無」の結果と併せて今後の傾向を見ていきたい。

### 3. 高校での音楽系クラブ経験の有無

「高校での音楽系クラブ経験の有無」について述べる。高校で音楽系クラブに所属していた割合は、図4に見るように減少傾向にある。また、図5の「高校での音楽系クラブの種類」は、吹奏楽部と合唱部以外の「その他」の音楽系クラブの割合が年度ごとに減少している。その中で、図5に見るように、10年間を通して約6～7割が吹奏楽部に所属しており、その割合は年々増加傾向にある。音楽系クラブ経験が吹奏楽部と合唱部の2種類に大別され、圧倒的に吹奏楽部が多いということは予想していなかった。その理由としては、吹奏楽部は、コンクールや様々なイベントなどで

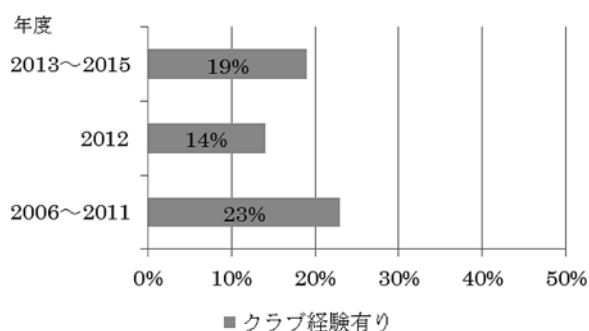
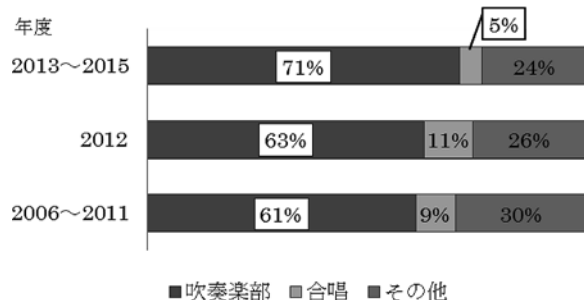


図4 高校での音楽系クラブ経験の有無

図5 高校での音楽系クラブの種類<sup>1)</sup>

活躍できるという楽しさなどが要因として挙げられるだろう。参考までに、その他のクラブの種類の内訳は、2006年～2011年度および2012年度が、管弦楽・器楽・琴・ギター・マンドリン・ハンドベル・和太鼓・軽音楽。2013年～2015年度が、軽音楽・フォークソング・クラシックギター・和太鼓・邦楽であった。

「器楽・声楽」の指導を行っていく中で、鍵盤楽器については未経験であっても、音楽系クラブの経験があれば、読譜力やリズム感など、音楽の基礎が身に付いているので、練習にどう取り組むかなど、音楽に向き合う姿勢を会得できていると感ずることが多い。

### 4. 鍵盤楽器の学習経験の有無と学習経験年数

「鍵盤楽器の学習経験の有無と学習経験年数」について述べる。図6に見るように、3期を通して平均すると、82%の学生が鍵盤楽器の経験者であることがわかる。本学科では入学試験に音楽の試験を課していないにも関わらず、鍵盤楽器の学習経験者が多いのは予想以上である。将来の保育・教育現場での仕事を見据えて、ある程度経験が必要であると、入学前から自覚している学生が多いと思われる。また、経験を生かして進路を決めている可能性も高い。図7の「鍵盤楽器の経験者の学習年数」を見ると、2013年～2015年度は、以前よりも4～8年以上、また9年以上の経験年数の長い学生が若干増加してきている。年度ごとの

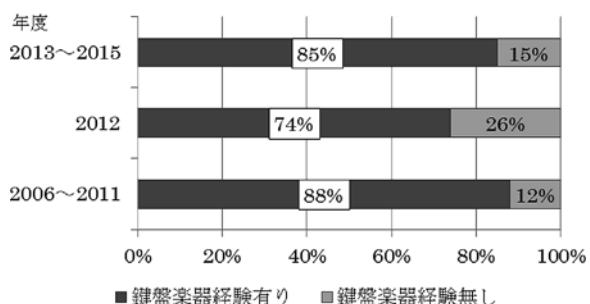


図6 鍵盤楽器の学習経験の有無

※鍵盤楽器には、ピアノ・オルガン（エレクトーンなど）・電子ピアノ・キーボードを含む。

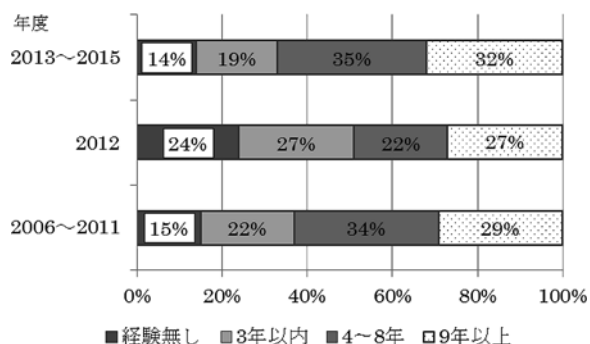


図7 鍵盤楽器の学習経験年数

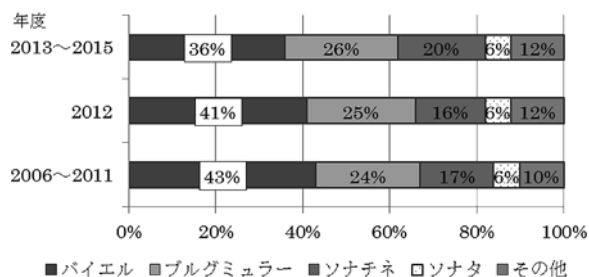


図 8 使用教則本

変化はあるが、平均すると、9 年以上の経験者が約 3 割、また 4 年以上の経験者が 6 割以上いることが分かる。これは、鍵盤楽器の経験が進路に結びついていることを表していると言えるだろう。一方、経験無しの学生は平均すると 2 割弱見られる。このように、入学前の経験についてはかなり差があるが、必ずしも経験年数に実力が伴っていない場合や、初心者や経験年数が浅くても、上達の速い学生もいる。さらに、音楽系クラブの経験が大きな力になっている学生も少なくない。

## 5. 使用教則本

「使用教則本」について述べる。図 8 に見るように、使用教則本に関するアンケートでは、幼稚園や保育所(園)、小学校などでの採用試験の課題に多く見られる教則本に特化した設問からの選択で、バイエル、ブルグミュラー、ソナチネ、ソナタ、その他とした。バイエルの経験者は、3 期を通して見るとやや減少傾向にある。ブルグミュラー、ソナチネ、およびソナタの割合については大きな変化は見られない。その他については、例えば、楽器店が経営している音楽教室などに通っていた場合には、教室のオリジナルテキストを用いている場合や、個人レッスンの先生の指導方針による選曲などがあると思われる。設問による影響もあるが、経験者の約 90% がバイエルからブルグミュラー、ソナチネへと至る学習を経てきている結果は大変興味深い。現在は様々な指導法も試されているが、このバイエルからスタートする学習方法は、音楽の基礎的な構造を習得し、演奏力を高める一定の効果があると我々も実感している。

## 6. 演奏できる楽器と鍵盤楽器所持の状況

「演奏できる楽器と鍵盤楽器所持の状況」について述べる。図 9 に見るように、演奏できる楽器は、鍵盤楽器以外では、木管楽器、次いで金管楽器を演奏できる学生が多い。木管楽器の内訳は、多い順から、クラリネット、フルート、サクソ、ピッコロであった。

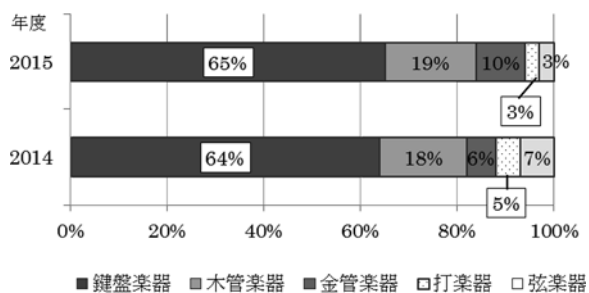


図 9 演奏できる楽器

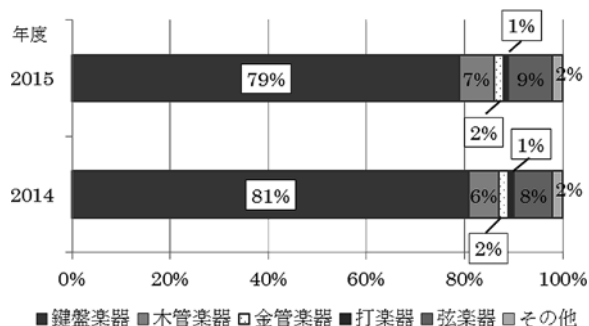


図 10 自宅に持っている楽器

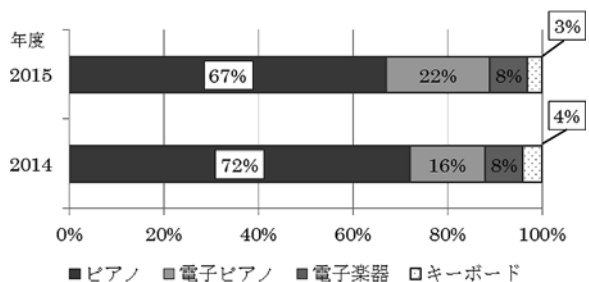


図 11 自宅に持っている鍵盤楽器の種類

また、金管楽器は、トランペット、トロンボーン、ホルンの順であった。この結果は、3 節の「高校での音楽系クラブの種類」で述べたように、高校の吹奏楽部での経験に比例していると言えるであろう。打楽器では、具体的な楽器の名前が挙がっていたのはドラムのみで、弦楽器は、ギター、バイオリン、琴の順であった。ドラムやギターの経験者が見られるのは、軽音楽部に所属していた学生がいたためと思われる。

次に、図 10「自宅に持っている楽器の種類」、図 11「自宅に持っている鍵盤楽器の種類」について述べる。鍵盤楽器を持っている学生の人数は、学生総数に対し、2014 年度は 126 名中 119 名で 94%、2015 年度は 134 名中 108 名で 82% であった。このように約 9 割が鍵盤楽器を所持しているという割合は非常に高い。4 節図 6 の鍵盤楽器の経験者よりも割合が上回っているのは、家庭に元々楽器がある、家族に経験者がいるなどが考えられる。また、鍵盤楽器以外の楽器を所持している学生も見られた。鍵盤楽器以外で所持してい

る割合が最も高かったのは弦楽器で、ギターが2年の平均で8名と一番多く、次いでバイオリン・琴・三味線・ウクレレの順であった。弦楽器に次いで木管楽器が多かったが、その種類は、吹奏楽部に所属していた学生で、個人の楽器を購入している割合の高い、フルート・クラリネットであった。打楽器は、木琴・電子ドラムが各1名ずつ、また、その他の記載は、リコーダーと鍵盤ハーモニカであった。

「演奏できる楽器」や「自宅に持っている楽器」の結果から、鍵盤楽器以外にも様々な楽器に接しており、学生の音楽経験が豊かなことが分かる。吹奏楽部での経験以外で、和楽器の経験があり、所持しているという回答が見られたが、これは高校での音楽の授業において2003年度以降、琴・三味線・和太鼓などの和楽器の習得が必修になったことも理由の一つと考えられる。

## 7. ピアノ・弾き歌いの質問と不安

2014年度・2015年度調査において「ピアノ・弾き歌いに対する質問と不安」について尋ねた。2年間の学生総数260名中30%に当たる79名がこの設問に記述していた。質問は無く、ピアノ未経験者やブランクのあることへの不安等、ピアノが弾けるかどうかというピアノ実技に対する不安がほとんどであった。このアンケートは入学時に行っているため、ピアノ実技への不安が大きいことがわかる。弾き歌いに関しては、Ⅲ章7節で1年生後期「器楽・声楽Ⅰ」を経て、2年生前期「器楽・声楽Ⅱ」に入り約2カ月が経った時期にアンケートを実施した結果を述べる。

「学生の音楽学習経験」についてまとめると、「高校での音楽の履修」の状況については10年間で大きな変化はないが、2014年度・2015年度のみの調査から、

表1 ピアノ・弾き歌いの質問と不安

未経験、又は殆ど弾いたことがないので弾けるようになるか不安	27
習っていた時からブランクがあるので不安	27
ピアノを始めて間がないので不安	6
ピアノが得意でない	5
楽譜が読めない	4
弾き歌いが不安	3
リズムがとれない	2
音符に音の名前を書かないと無理 高校で音楽の授業がなかったので不安 鍵盤楽器のタッチの違い 習っているが進度が遅い 一曲の仕上げに時間がかかる	各1
回答数 79名	

高校3年間を通して音楽を履修している学生が1/4見られた。これは、高校卒業後の進路を意識して選択している学生が増えつつあると考えられる。高校までの「音楽系クラブの経験」については、2割前後で大きな変化は見られないが、10年間を通して経験者の約7割が吹奏楽部に所属しており、その割合も増え続けている。また、6節の「演奏できる楽器」の調査でも分かるように、鍵盤楽器以外の経験を有する学生が多く見られ、背景に豊かな音楽経験が感じられる。この実態は、「器楽・声楽」の授業においても、鍵盤楽器の経験の有無に関わらず、吹奏楽部などでの音楽経験が大きく活かされている。「鍵盤楽器の経験の有無」と「学習経験年数」についても割合に大きな変化は見られないが、平均すると9年以上の経験者が約3割、また4年以上の経験者が6割以上で、これは、鍵盤楽器の経験が進路に結びついていることを表していると言える。一方で、経験無しの学生は2割弱であった。経験無しや経験の浅い学生からの、ピアノに対する不安も多数あげられていたが、入学前には経験にかなりの差を持つ学生達が、授業が終了する時点では、演奏面でも大きな差が感じられないほどに成長を遂げるケースも多い。その背景には、学生の個々の努力も勿論であるが、我々がこの10年間に積み重ねてきた授業の改善や工夫、ピアノの授業における進度別のクラス分けの中での学生同士の切磋琢磨、「器楽・声楽」以外の音楽に関連する授業との相乗効果なども功を奏していると考えられる。

## Ⅲ 子どもの歌の既知曲の実態

Ⅲ章では、「歌唱教材の既知曲の実態」について述べる。学生が「器楽・声楽」の授業で使用している2冊のテキストの子どもの歌をどれ位知っているのか実態を知るために、2012年度に初めて歌唱教材の既知曲の調査をして分析を行い、2014年に甲南女子大学研究紀要にまとめた。既知曲の調査を始めたきっかけは、テキスト掲載曲を学生達があまりにも知らないことに困惑したからであった。2012年度の学生の共通既知曲は、111曲の1/3であった。非常に少ないという結果から、2013年度以降の学生の既知曲の実態を捉える必要を感じた。テキストは「歌おう♪弾こう♪こどもとともに」<sup>3)</sup>と「マイレパートリー」<sup>3)</sup>の2冊で、「歌おう♪弾こう♪こどもとともに」の掲載曲は34曲、「マイレパートリー」は77曲で、曲数は両方に共通している《お正月》と《ハッピー・バースデー・ト

ウ・ユー》を除き、2冊で111曲である。資料2に示した「子どもの歌に関するアンケート」に見るように、2冊の掲載曲全111曲に「大学以前に知っていた子どもの歌」と「大学以後に知った子どもの歌」に○を記入させ、既知曲を調査した。他に「子どもの頃によく歌っていた歌」「子どもの頃に歌った歌は誰に習ったか」「一番好きな子どもの歌」「保育者になった時に子どもたちに伝えたい歌」「弾き歌いの大事な3つのポイント」など5つの設問をして分析を行った。今回は、2013年～2015年度の3年分の既知曲の平均をして傾向をとらえ、前回調査分析した2012年度の結果と比較した。

学生の有効回答数は2012年度107名。2013年度111名、2014年度126名、2015年度120名、3年分の平均は119名であった。なお、2013年度以降とは2013年～2015年度を示し、2012年度と比較するために3年間で平均したデータを用いている。

### 1. 大学以前に知っていた子どもの歌

「大学以前に知っていた子どもの歌」について述べる。掲載曲111曲は、いわゆる保育・教育現場で使われる定番曲を厳選したもので、その中には生活・行事の歌や、季節・自然の歌、あそびの歌、小学校共通教材曲24曲が含まれており、我々指導者が学生達に知っていて欲しいと願う曲である。表では、「歌おう♪弾こう♪こどもとともに」を無地で、「マイレパートリー」はグレー地で表している。

資料3-1と3-2は、テキスト掲載曲全111曲の既知曲の人数表である。全体を見ると、上位80%以上の学生が知っていた曲が約50曲あるので、詳細に分析を行う。また、下位に関しては、20%未満の約20曲の比較分析を行う。

初めに、100%の学生が知っていた子どもの歌について述べる。表2に示すように100%の学生が知っていた子どもの歌が、2012年度は17曲あったのに対して、2013年度以降は7曲と半分以下に減少している。2012年度と2013年度以降で100%共通している曲は《あわてんぼうのサンタクロース》《うれしいひな祭り》《お正月》《ちゅうりっぷ》《ハッピー・バースデー・トゥ・ユー》《ぶんぶんぶん》の6曲であった。共通している曲の下に、2重線を入れている。共通している6曲と\*印の12曲と合わせた18曲が、ほぼ4年間の共通既知曲と言える。表2は、共通している曲と\*印の共通していない曲をまとめて、それぞれ五十音順に示したものである。以後の表も同様である。

表2 大学以前に知っていた子どもの歌 100%

	2012 年度 (107 名)	2013 年度以降 (119 名)
1	あわてんぼうのサンタクロース	あわてんぼうのサンタクロース
2	うれしいひな祭り	うれしいひな祭り
3	お正月	お正月
4	ちゅうりっぷ	ちゅうりっぷ
5	ハッピー・バースデー・トゥ・ユー	ハッピー・バースデー・トゥ・ユー
6	ぶんぶんぶん	ぶんぶんぶん
7	うみ (小学校共通教材曲)*	アイアイ*
8	大きなくりの木の下で*	
9	おもちゃのチャチャチャ*	
10	さんぽ*	
11	ジングルベル*	
12	ちょうちょう*	
13	どんぐりころころ*	
14	森のくまさん*	
15	犬のおまわりさん*	
16	思い出のアルバム*	
17	大きな古時計*	

\*印は両年度に共通していない曲を示す

次に、90%～99%の学生が知っていた子どもの歌について述べる。表3に見るように、90%～99%では2012年度は30曲で2013年度以降は32曲と、ほぼ同じである。共通している曲は、2重線で示すように20曲あった。\*印の曲は、2012年度10曲、2013年度以降12曲で、両方合わせて22曲あった。90%～99%の学生が知っている曲は共通している20曲と、\*印の22曲を合わせて全部で42曲ある。この中で100%の曲と重なっている12曲を省いた30曲と、100%の18曲を合算すると、90%以上の学生が知っている曲は4年間を通して48曲になり、掲載曲111曲の43%になった。この調査を始めた時は、共通既知曲がますます減少していくだろうと予想していたが、90%以上の学生が知っている曲は、2012年度が47曲、2013年度以降は39曲となり、やはり少しではあるが減少しているように見える。今後もこの動向に注意していきたい。この表で特記すべきところは、小学校共通教材曲の《うみ》《春が来た》《ふるさと》《夕やけ小やけ》《かたつむり》《虫の声》の6曲が両年度に共通して含まれていたことである。これは、小学校共通教材全24曲中の1/4を占めている。この6曲は、学生のほとんどが小学校共通教材の定番曲として、小学校で習ってきていることがわかった。

表4に見るように、80%～89%の学生が知っていた子どもの歌について述べる。2012年度が4曲で

表3 大学以前に知っていた子どもの歌 90%～99%

	2012 年度 (107 名)	2013 年度以降 (119 名)
1	一ねんせいになったら	一ねんせいになったら
2	きよしこの夜	きよしこの夜
3	かたつむり (小学校共通教材曲)	かたつむり (小学校共通教材曲)
4	こいのぼり	こいのぼり
5	こぎつね	こぎつね
6	さっちゃん	さっちゃん
7	しゃぼんだま	しゃぼんだま
8	世界に一つだけの花	世界に一つだけの花
9	ぞうさん	ぞうさん
10	たなばたさま	たなばたさま
11	ドレミの歌	ドレミの歌
12	にんげっていいな	にんげっていいな
13	春がきた(小学校共通教材曲)	春がきた(小学校共通教材曲)
14	ふしぎなポケット	ふしぎなポケット
15	ふるさと(小学校共通教材曲)	ふるさと(小学校共通教材曲)
16	ミッキーマウス・マーチ	ミッキーマウス・マーチ
17	めだかの学校	めだかの学校
18	やぎさんゆうびん	やぎさんゆうびん
19	勇気 100%	勇気 100%
20	ゆき	ゆき
21	アイアイ*	赤鼻のトナカイ*
22	おべんとう*	犬のおまわりさん*
23	こぶたぬきつねこ*	うみ(小学校共通教材曲)*
24	世界中のこどもたちが*	大きなくりの木の下で*
25	たきび*	大きな古時計*
26	南の島のハメハメハ大王*	思い出のアルバム*
27	虫のこえ(小学校共通教材曲)*	おもちゃのチャチャチャ*
28	山の音楽家*	さんぽ*
29	夕やけ小やけ (小学校共通教材曲)*	ジングルベル*
30	ゆかいな牧場*	ちょうちょう*
31		どんぐりころころ*
32		森のくまさん*

\*印は両年度に共通していない曲を示す

2013 年度以降は 9 曲で、共通している曲は《おばけなんてないさ》のみであった。\*印の曲は、両方合わせて 11 曲である。80% 以上の学生が知っている曲は、合計で 52 曲である。全体の約 1/2 となる。

次に、下位について述べる。0% は無かったので、10% 未満について、つまり学生の 10% 未満しか知らない曲について述べる。表 5 に見るように、両年度とも 10 曲で、全て共通の曲であった。この結果は非常に興味深い。その中で、小学校共通教材曲は《越天楽今様》《スキーの歌》《冬げしき》の 3 曲であった。指導者の世代では小学校で習ってきたが、今の学生は小

表4 大学以前に知っていた子どもの歌 80%～89%

	2012 年度 (107 名)	2013 年度以降 (119 名)
1	おばけなんてないさ	おばけなんてないさ
2	赤鼻のトナカイ*	おべんとう*
3	小さな世界*	こぶたぬきつねこ*
4	もみじ*	世界中のこどもたちが*
5		たきび*
6		南の島のハメハメハ大王*
7		虫のこえ (小学校共通教材曲)*
8		山の音楽家*
9		夕やけ小やけ (小学校共通教材曲)*

\*印は両年度に共通していない曲を示す

表5 大学以前に知っていた子どもの歌 10% 未満

	2012 年度 (107 名)	2013 年度以降 (119 名)
1	あくしゅでこんにちは	あくしゅでこんにちは
2	越天楽今様 (小学校共通教材曲)	越天楽今様 (小学校共通教材曲)
3	そらでえんそくしてみたい	そらでえんそくしてみたい
4	スキーの歌 (小学校共通教材曲)	スキーの歌 (小学校共通教材曲)
5	だから雨ふり	だから雨ふり
6	どこでねるの	どこでねるの
7	ふうせん	ふうせん
8	冬げしき(小学校共通教材曲)	冬げしき(小学校共通教材曲)
9	ぶらんこ	ぶらんこ
10	ゆげのあさ	ゆげのあさ

\*印は両年度に共通していない曲を示す

表6 大学以前に知っていた子どもの歌 10%～19%

	2012 年度 (107 名)	2013 年度以降 (119 名)
1	ありさんのおはなし	ありさんのおはなし
2	いるかはざんぶらこ	いるかはざんぶらこ
3	おほしさま	おほしさま
4	きみとほくのラララ	きみとほくのラララ
5	しずかなクリスマス	しずかなクリスマス
6	春の風	春の風
7	日のまる(小学校共通教材曲)	日のまる(小学校共通教材曲)
8	まきばの朝 (小学校共通教材曲)	まきばの朝 (小学校共通教材曲)
9	山のワルツ	山のワルツ
10		シンデレラのスープ*
11		やまびこごっこ*

\*印は両年度に共通していない曲を示す

学校共通教材でありながら、おそらく小学校でほとんど習っていないということが明らかである。

10%～19% の学生しか知らない子どもの歌について述べる。表 6 に見るように、ここでは《きみとほくのラララ》《しずかなクリスマス》《春の風》《シンデ

レラのスープ》など 4 曲の新しい曲が含まれている。共通している曲が 9 曲、\*印の曲が 2 曲で、合計 11 曲あった。

以上のように、20% 未満の学生しか知らない「大学以前に知っていた子どもの歌」は、2012 年～2015 年度の 4 年を通して 10% 未満が 10 曲で、20% 未満が 11 曲、計 21 曲あり、テキスト掲載曲 111 曲の約 1/5 であった。このことは、21 曲をほとんどの学生が知らなかったということを示している。

## 2. 大学以後に知った子どもの歌

「大学以後に知った子どもの歌」とは、このアンケートをとるのが 2 年生の 6 月ごろのため、この時点での調査の結果である。上記の 1 節で大学以前に知っていた曲が多いと結果が出たように、資料 4-1 と資料 4-2 に示すように大学以後に知った曲の上位が少ない。2012 年度は 100% の学生が「大学以後に知った子どもの歌」は無く、2013 年度以降では 90% 以上が無い。

初めに、80% 以上の学生が「大学以後に知った子どもの歌」を分析する。表 7 に見るように、ここでは共通の曲が《ありさんのおはなし》1 曲だけで、\*印が 5 曲、全部で 6 曲あった。《ありさんのおはなし》は、養成校の指導者では誰もが知っている曲の一つだが、学生の 80% 以上が知らなかったということと、子どもの頃に習ってきていないという事実は非常に驚きである。いわゆる、ジェネレーションギャップと言えるだろう。あとの 5 曲は新しい曲であった。\*印の《しずかなクリスマス》《だから雨ふり》の 2 曲は、いずれも新沢としひこと中川ひろたかの作品である。彼らは 1980 年代から活動している保育現場出身の作詞家と作曲家である。この 2 曲は、すでに保育や教育現場で多く用いられているはずだが、テレビなどで広く放送されている曲ではないため、今の学生は知っている者が少なかった。《ふうせん》もあそびうた作家である湯浅とんぼ作詞・中川ひろたか作曲の歌であるが、同様にあまり知られていない。《シンデレラのスープ》は、1988 年に NHK 教育テレビ“おかあさんといっしょ”から生まれた曲であるため、学生の幼児期にはテレビであまり放送されていなかったのかも知れない。

次に、50%～79% をまとめて分析してみる。

50%～79% の学生が「大学以後に知った子どもの歌」は、表 8 に見るように、共通の曲が 3 曲、\*印の曲が 13 曲、合わせると 16 曲であった。共通の曲《き

表 7 大学以後に知った子どもの歌 80% 以上

	2012 年度 (107 名)	2013 年度以降 (119 名)
1	ありさんのおはなし	ありさんのおはなし
2	いるかはざんぶらこ*	シンデレラのスープ*
3	しずかなクリスマス*	
4	だから雨ふり*	
5	ふうせん*	

\*印は両年度に共通していない曲を示す

表 8 大学以後に知った子どもの歌 50%～79%

	2012 年度 (107 名)	2013 年度以降 (119 名)
1	きのこ	きのこ
2	おはながわらった	おはながわらった
3	にじ	にじ
4	越天楽今様 (小学校共通教材曲)*	あくしゅでこんにちは*
5	スキーの歌 (小学校共通教材曲)*	いるかはざんぶらこ*
6	日のまる (小学校共通教材曲)*	おはよう*
7		しずかなクリスマス*
8		せんせいとおともだち*
9		だから雨ふり*
10		とけいのうた*
11		はをみがきましょう*
12		ふうせん*
13		ゆきのこぼろず*

\*印は両年度に共通していない曲を示す

のこ》は 1966 年に作られ、《おはながわらった》が 1962 年に、《いるかはざんぶらこ》は 1980 年に作られているので、学生に馴染みがなかったようである。《にじ》は新沢としひこと中川ひろたかの曲で、半分位の学生が知らなかった。\*印の《あくしゅでこんにちは》《おはよう》《せんせいとおともだち》《はをみがきましょう》は、保育・教育現場の生活の歌としてよく歌われているようだが、地域や園によっては、歌われていない場合もあるようだ。《ゆきのこぼろず》は元々外国の遊び歌であるが、日本では《いとまきのうた》という手遊び歌として伝えられてきたため、《ゆきのこぼろず》の歌詞は知らない学生が多い。小学校共通教材の 3 曲《越天楽今様》《スキーの歌》《日のまる》は、50% 以上の学生が知らなかったと答えている。《越天楽今様》は鑑賞はしているが、歌として習って来っていないということが考えられる。《スキーの歌》や《日のまる》は、あまり教材として扱われていないこともわかった。

次に、下位について述べる。「大学以後に知った子どもの歌」が 0%、つまり全員が知っていた曲は表 9



表9 大学以後に知った子どもの歌 0%

	2012年度(107名)	2013年度以降(119名)
1	お正月	お正月
2	かたつむり(小学校共通教材曲)	かたつむり(小学校共通教材曲)
3	さんぽ	さんぽ
4	ジングルベル	ジングルベル
5	ちょうちょう	ちょうちょう
6	ドレミの歌	ドレミの歌
7	ハッピー・バースデー・トゥ・ユー	ハッピー・バースデー・トゥ・ユー
8	ぶんぶんぶん	ぶんぶんぶん
9	森のくまさん	森のくまさん
10	あわてんぼうのサンタクロース*	一年生になったら*
11	犬のおまわりさん*	めだかの学校*
12	ちゅうりっぷ*	ゆき*
13	うみ(小学校共通教材曲)*	勇気100%*
14	うれしいひな祭り*	
15	大きなくりの木の下で*	
16	大きな古時計*	
17	おもちゃのチャチャチャ*	
18	どんぐりころころ*	
19	ふしぎなポケット*	

\*印は両年度に共通していない曲を示す

に見るように、2012年度で19曲、2013年度以降が13曲であった。共通している曲は9曲で、\*印の曲は2012年度が10曲、2013年度以降が4曲で、2012年～2015年度の4年を通して23曲あった。表9で曲目を見てみると、23曲すべての曲が、大学以前に知っていた曲の90%～100%のところに含まれていることがわかる。いずれの曲も、保育・教育現場では欠かせない楽曲である。

10%未満では、表10に見るように「大学以後に知った子どもの歌」の共通の曲が22曲で、\*印の曲2012年度8曲、2013年度以降が12曲で20曲あり、合計42曲であった。これは全体の2/5にあたる。0%の23曲と10%未満の42曲を合わせると65曲である。

次に「大学以後に知った子どもの歌」の10%～19%も分析してみる。表11に見るように、共通している曲は5曲で、\*印の曲は2012年度2曲、2013年度以降6曲あり、共通している5曲と、\*印の曲2012年度2曲、2013年度以降4曲で6曲あり、4年を通して11曲になる。小学校共通教材の《春の小川》《ひらいたひらいた》《茶つみ》《子もり歌》《もみじ》《さくらさくら》の6曲は、ほとんどの学生が知っていて、小

表10 大学以後に知った歌 10%未満

	2012年度(107名)	2013年度以降(119名)
1	アイアイ	アイアイ
2	思い出のアルバム	思い出のアルバム
3	赤鼻のトナカイ	赤鼻のトナカイ
4	きよしこの夜	きよしこの夜
5	こいのぼり	こいのぼり
6	こぎつね	こぎつね
7	こぶたぬきつねこ	こぶたぬきつねこ
8	さっちゃん	さっちゃん
9	しゃぼんだま	しゃぼんだま
10	世界中の子どもたちが	世界中の子どもたちが
11	世界に一つだけの花	世界に一つだけの花
12	ぞうさん	ぞうさん
13	たきび	たきび
14	たなばたさま	たなばたさま
15	小さな世界	小さな世界
16	にんげんっていいな	にんげんっていいな
17	春が来た(小学校共通教材曲)	春が来た(小学校共通教材曲)
18	ふるさと(小学校共通教材曲)	ふるさと(小学校共通教材曲)
19	虫の声(小学校共通教材曲)	虫の声(小学校共通教材曲)
20	やぎさんゆうびん	やぎさんゆうびん
21	山の音楽家	山の音楽家
22	タヤケ小やけ(小学校共通教材曲)	タヤケ小やけ(小学校共通教材曲)
23	一ねんせいになったら*	あわてんぼうのサンタクロース*
24	おべんとう*	犬のおまわりさん*
25	ミッキーマウスマーチ*	うみ(小学校共通教材曲)*
26	南の国のハメハメハ大王*	うれしいひな祭り*
27	めだかの学校*	大きなくりの木の下で*
28	勇気100%*	大きな古時計*
29	ゆかいな牧場*	おもちゃのチャチャチャ*
30	ゆき*	子もり歌(小学校共通教材曲)*
31		ちゅうりっぷ*
32		どんぐりころころ*
33		ふしぎなポケット*
34		ミッキーマウス・マーチ*

\*印は両年度に共通していない曲を示す

学校で習ってきたようである。

「大学以前に知っていた子どもの歌」と「大学以後に知った子どもの歌」について、まとめる。「大学以後に知った子どもの歌」に関しては、0%～19%までの曲数を合計すると、2012年～2015年度の4年を通して57曲あり、テキスト2冊の総掲載数111曲中の1/2である。「大学以前に知っていた曲」の80%以上の学生が知っていた曲が65曲で全体の約7割となる。割合が、ほぼ一致していると言える。以上の結果が

表 11 大学以後に知った子どもの歌 10%～19%

	2012 年度 (107 名)	2013 年度以降 (119 名)
1	おばけなんてないさ	おばけなんてないさ
2	そうだったらいいのにな	そうだったらいいのにな
3	春の小川(小学校共通教材曲)	春の小川(小学校共通教材曲)
4	ひらいたひらいた(小学校共通教材曲)	ひらいたひらいた(小学校共通教材曲)
5	茶つみ(小学校共通教材曲)	茶つみ(小学校共通教材曲)
6	子もり歌(小学校共通教材曲)*	おべんとう*
7	もみじ(小学校共通教材曲)*	南の島のハメハメハ大王*
8		ゆかいな牧場*
9		さくらさくら(小学校共通教材曲)*

\*印は両年度に共通していない曲を示す

ら、学生が大学以前に子どもの歌をあまり知らないという事実は変わっていないことがわかった。我々指導者が知って欲しいと願う曲を、しっかりと指導していかなければならないことを、あらためて痛感した。

### 3. 子どもの頃によく歌っていた歌

まず「子どもの頃によく歌っていた歌」の概要を述べる。2012 年度の回答曲は全部で 132 曲、テキスト掲載曲とテキストにない曲についての内訳は不明である<sup>4)</sup>。表 12 に示す 10 曲以外に 5 名以下の回答曲が 122 曲あり、その中で 1 名のみの回答 84 曲は全体の 64% を占めている。2013 年度以降の回答曲は全部で

111 曲、その内訳はテキスト掲載曲が 60 曲、テキストにない曲が 51 曲とほぼ近い割合であった。表 12 に示した 17 曲以外に、5 名以下の回答曲が 94 曲あり、この中で 1 名のみの回答は 86 曲で全体の 77% を占めていた。1 名のみの回答数とテキストにない曲の回答数から、学生の音楽的嗜好やバックグラウンドの多様性が見えてくる。

次に上位の回答曲を比較して述べる。2012 年度の 6 名以上が回答した 10 曲は全てテキスト掲載曲である。これを基準に 2013 年度以降の 6 名以上の回答曲を分析した結果、2013 年度 14 曲、2014 年度 12 曲、2015 年度 20 曲で、平均 17 曲、全曲がテキスト掲載曲であった。この回答数の増加は、子どもの歌に対する学生達の意識が年々高まっていることを感じさせる。また、上位回答数が 2012 年度 97 名から 2013 年度以降 145 名と 1.5 倍に増加していることも意識の高まりを示していると言える。

2012 年度の「子どもの頃によく歌っていた歌」で回答数が一番多いのは、《さんぽ》20 名で、2 位《チューリップ》12 名、3 位《思い出のアルバム》11 名である。この後に続くのは、4 位《ドレミの歌》10 名、5 位《勇気 100%》9 名、6 位《ともだちになるために》8 名、7 位《にんげんっていいな》《世界中のこどもたちが》《にじ》各 7 名、8 位《ぞうさん》6 名である。2013 年度以降で回答数が一番多かったのは

表 12 子どもの頃によく歌っていた歌 6 名以上の曲

順位	2012 年度生 (107 名)	人数	2013 年度以降(平均 119 名)	平均
1	さんぽ	20	さんぽ	18
2	チューリップ	12	ドレミの歌	14
3	思い出のアルバム	11	思い出のアルバム	14
4	ドレミの歌	10	チューリップ	9
5	勇気 100%	9	にんげんっていいな	9
6	ともだちになるために	8	勇気 100%	8
7	にんげんっていいな	7	世界中のこどもたちが	8
8	世界中のこどもたちが	7	にじ	7
9	にじ	7	あわてんぼうのサンタクロース*	7
10	ぞうさん*	6	世界にひとつだけの花*	7
11			森のくまさん*	7
12			バスごっこ*	7
13			ふしぎなポケット*	6
14			ちょうちょう*	6
15			ぶんぶんぶん*	6
16			おもちゃのチャチャチャ*	6
17			ともだちになるために*	6
合計	上位回答数 97 名		上位回答数 145 名	

\*印は両年度に共通していない曲を示す

《さんぽ》18名で、2位《ドレミの歌》《思い出のアルバム》各14名、3位《チューリップ》《にんげんっていいな》各9名であった。この後に続くのは、4位《勇気100%》《世界中のこどもたちが》各8名、5位《にじ》《あわてんぼうのサンタクロース》《世界に一つだけの花》《森のくまさん》《バスごっこ》各7名、6位《ふしぎなポケット》《ちょうちょう》《ぶんぶんぶん》《おもちゃのチャチャチャ》《ともだちになるた

めに》各6名であった。2012年度の《ぞうさん》は、2013年度以降、\*印の付いた8曲と入れかわっている。それは《あわてんぼうのサンタクロース》《世界に一つだけの花》《森のくまさん》《バスごっこ》《ふしぎなポケット》《ちょうちょう》《ぶんぶんぶん》《おもちゃのチャチャチャ》である。ちなみに2013年度以降の《ぞうさん》のデータは回答数5名で7位、そのため表12にあがっていない。\*印のついた9曲が

表13 2013年度以降 子どもの頃によく歌っていた歌 テキストにない曲

ぼくのミックスジュース*	あ・い・うー*	サンタが街にやってくる
だんご三兄弟*	青い空	三百六十五歩のマーチ
にじの向こうに*	あさのうた	Secret base～君がくれたもの～
こぶたぬきつねこ	りんごのひとりごと	SHAKE
小さな世界	赤いくつ	ジブリの曲歌全般***
ビリーブ**	上がり目下がり目（手遊び歌）	すいかの名産地（手遊び歌）
むすんでひらいて（手遊び歌）	アップルパイひとつ*	睡眠不足のうた
虫歯建設株式会社*	あまだれこぞうさん	らいおんハート（スマップ）
アンパンマンマーチ**	イカイカイルカ*	スプーン姫さまは今日もスプーン*
げんこつ山のたぬきさん（手遊び歌）	おいものうた	タンポポ団になろう*
とんとんとんとんひげじいさん（手遊び歌）	おおきなたいこ	小さい秋みつけた**
ゆかいな牧場	おかあさん	ちいさなキタキツネ
糸まきのうた（手遊び歌）	おかあさんといっしょの歌全般*	地球よまわれ
かえるのがっしょう（輪唱）	おどるポンポコリン***	ちっちゃないちご（手遊び歌）
きらきら星	おべんとうばこのうた（手遊び歌）	つばさ
クリスマスのうた（賛美歌など）	おほしさま	手のひらを太陽に**
旅立ちの日に	おりづる	天才バカボン*
ねこふんじゃった	かえるのみどりちゃん（ドラえもん）***	ドロップスのうた
うたえバンバン	かごめかごめ（わらべ歌）	涙そうそう
オニのパンツ	かつこう	ののさま
およげたいやきくん*	かっぱなにさまかっぱさま*	花
カントリーロード	かめの遠足	春が来た
君をのせて**	カレンダーマーチ	バナナのおやこ*
公園に行きましょう*	川の流れるように	ぼよん行進曲*
クラリネットをこわしちゃった	気球に乗ってどこまでも	バンダ・うさぎ・コアラ*
ジャングルポッケ	北風小僧の寒太郎**	はとぼっぼ
翼をください	記念樹	いい湯だな（ドリフターズ）
通りゃんせ（わらべ歌）	キャベツのなかから（手遊び歌）	パフ*
となりのトトロ***	クレヨンのうた	ばわわぶ体操*
ドラえもん***	クレヨンしんちゃん***	Bestfriend**
とんでったバナナ*	グリーングリーン*	ポケモンゲットだぜ*
どんな色が好き*	ゲーチョコランタン*	星に願いを***
はじめの一步	くじらのとけい*	星の世界
七つの子	ことり	みかんの花咲く丘
ゆうびんやさん（遊び歌）	この星にうまれて	ミニモニの歌（女性グループ）*
夢日和（ドラえもん）***	心絵（アニメ）***	メロンパンナちゃんの歌***
WA になっておどろろ**	こもりうたの替え歌	スーパーカリフラジスティックエクス
われは海の子	さよならさんかくまたきてしかく（わらべ歌）	ピアリドーシャス***
3名以下の回答 113 曲		

\*印は「お母さんといっしょ」のうた、\*\*はみんなのうた、\*\*\*はアニメ・ミュージカル映画を示す

両年度に共通していない曲である。

両年度に共通している 9 曲と\*印のついた 9 曲を合わせた 18 曲は、2012 年～2015 年度の学生達が子ども時代に親しんだ人気曲であると言える。この中に、J-POP の《世界に一つだけの花》が上位に登場しているのは、今日的傾向であろう。また、新沢としひこと中川ひろたかの《世界中の子どもたちが》《にじ》《ともだちになるために》3 曲が上位に含まれている事も特徴である。加えて、1 節で述べた大学以前に知っていた曲と比較すると、18 曲中 14 曲は 90% 以上が大学以前に知っていた曲であり、他の 4 曲も 60% 以上に入っている。

2013 年度以降のテキストにない曲の回答は平均 50 曲であったが、参考までに、2012 年～2015 年度までの 3 年間の回答全 113 曲を表 13 に示す。5 名、4 名の回答はゼロで、左上から順に 3 名、2 名、1 名の区切りを 2 重線で示している。1 名のみの回答が圧倒的に多いことがわかる。\*印で示すように、NHK「お母さんといっしょ」・NHK「みんなの歌」・FNN「ポンキッキ」・アニメ・ミュージカル等の歌が多く含まれている。また、遊び歌や祖父母と歌ったような古い童謡も含まれている。

#### 4. 子どもの頃に歌っていた歌は誰に習ったか

まず「子どもの頃に歌っていた歌は誰に習ったか」の概要を述べる。表 14 に見るように、2012 年度の回答は全部で 12 件、2013 年度以降は 13 件であった。共通項目は 9 件、\*印のついた 8 件は両年度に共通していない項目である。両方を合わせた 17 件が、2012 年～2015 年度の学生達が子どもの頃に習った人や場

所の全容であると言える。件数としては変わらないが、回答数が 255 件から 350 件に増加しているのは、子どもの頃に歌っていた歌について、学生の関心度が高まっていることを表していると言える。

次に上位の回答を比較して述べる。2012 年度の 1 位は習い事の先生 55 名、2 位はテレビ 51 名、3 位は父親・母親 49 名の順である。2013 年度以降は 1 位が父親・母親 84 名、2 位幼稚園 71 名、3 位がテレビ 51 名であった。2012 年度にトップだった習い事の先生 55 名が、2013 年度以降は 21 名に半減している。これは、学習塾通いが社会現象である昨今、歌を覚えるような場所が減っていることが推測される。また、2012 年度 3 位であった父親・母親が、2013 年度以降 1 位になったことは意外であった。テレビを通じて歌を覚える傾向がますます強くなっていくだろうという予想に反し、父親・母親が 2012 年度 49 名、2013 年度 69 名、2014 年度 77 名、2015 年度 100 名と年々増加している。特に 2015 年度の 100 名という回答は有効回答数の 83% であり、ほとんどの学生が両親から歌を習っていたということになる。また祖父母や兄・姉・家族という回答も急増しており、親子や家族と一緒に歌う場面が想像される。また、幼稚園も 2013 年度 48 名、2014 年度 76 名、2015 年度 90 名と年々増加している。年度で比較すると 2013 年度以降は 2 倍になっており、幼稚園が果たす役割の大きさを示している。反面、小学校・保育所（園）・学童保育などの教育機関は何故かあまり変化がない。またテレビは 2012 年度と 2013 年度以降は同数で変化はないようであるが、2013 年度 67 名、2014 年度 43 名、2015 年度 44 名とやや減少傾向がみられる。今後の観察が必要である

表 14 子どもの頃に歌った歌は誰に習ったか

順位	2012 年度 (107 名)	人数	2013 年度以降 (119 名)	人数
1	習い事の先生 (ピアノ・電オルガン他)	55	父親・母親	84
2	テレビ (アニメ・「おかあさんといっしょ」他)	51	幼稚園	71
3	父親・母親	49	テレビ (アニメ・「おかあさんといっしょ」他)	51
4	幼稚園	36	保育園	22
5	保育園	28	小学校	22
6	小学校	17	習い事の先生 (ピアノ・電オルガン他)	21
7	CD・カセット VTR*	10	祖父・祖母	14
8	祖父・祖母	5	兄・姉・家	7
9	兄・姉・家族	1	学童保育他	2
10	学童保育他	1	本・歌の本*	2
11	町内放送*	1	友達*	2
12	合唱*	1	叔母*	1
計	回答数 255 名		回答数 350 名	

\*印は両年度に共通している項目を示す

が、これは近年ボンキッキのような民放の子ども番組がなくなっていることや、保育が低年齢化し、在宅が減っていることも要因と考えられる。またカセット・VTRの回答数は2012年度10名であったが、2013年度以降は0.3名に激減している。こうした状況の中、実際に人を介して歌を習ってきたという学生たちのバックグラウンドに、あたたかいものを感じる。

## 5. 一番好きな子どもの歌

まず「一番好きな子どもの歌」の概要を述べる。2012年度の回答曲は全部で36曲、テキスト掲載曲とテキストにない曲についての内訳は不明である。2012年度は、表15に示す10曲以外に2名以下の回答曲が26曲あり、その中で1名のみの回答曲18曲が全体の50%を占めている。2013年度以降の回答曲は全部で67曲、その内訳はテキスト記載曲が47曲、テキストにない曲が20曲であった。表15に示す9曲以外に2名以下の回答曲が58曲、この中で1名以下の回答は53曲で全体の79%を占めていた。好きな曲は非常に個別的であるため、2名以下の回答のすそ野の広がり、個人的嗜好の多様さを裏付けている。

次に上位の回答を比較して述べる。まず2012年度の1位は《にじ》37名、2位《思い出のアルバム》10名、3位《アイスクリームの歌》《世界中のこどもたちが》各6名であった。この後に続くのは、4位《さんぽ》5名、5位《にんげんっていいな》4名、6位《ともだちになるために》《ビリーブ》《あめふりくまのこ》《勇気100%》各3名であった。《ビリーブ》<sup>a)</sup>を除く9曲は、全てテキスト掲載曲であった。2013年度以降の回答を2012年度の3名以上のデータに合わせて分析すると、1位《にじ》38名、2位《思い出のアルバム》8名、3位《ともだちになるために》7名であった。この後に続くのは、4位《あめふりくまの

こ》6名、5位《世界中のこどもたちが》《アイスクリームの歌》各5名、6位《さんぽ》《うれしいひなまつり》《にんげんっていいな》各3名で、全てテキスト掲載曲であった。

両年度に共通する8曲と\*印のついた3曲を合わせた11曲が、2012度～2015年度の学生達が特に好きな曲であると言える。中でも共通する《にじ》が飛び抜けて人気がある。《にじ》は《世界中のこどもたちが》《ともだちになるために》とともに新沢としひこと中川ひろたかによるもので、上記の中では最も若手の子どもの歌の作家の作品であり、その新しい感覚が学生たちに好まれているようである。2位は2012年度、2013年度以降ともに《思い出のアルバム》だが、ここから回答数が大きく減少している。一桁の数の回答が2012年度は94%、2013年度以降は99%を占めているのに驚かされたのと同時に、学生がテキスト掲載曲に捉われることなく率直に回答をしているので、実態を捉える上で非常に興味深いデータとなった。

複数回答の「子どもの頃によく歌っていた歌」と1曲回答の「一番好きな子どもの歌」の数の比較はできないが、表16に見るように、両年度に共通している7曲と\*印の付いた13曲を合わせた21曲が、おおよそ学生達が子どもの頃によく歌っていた好きな歌であるという事がわかる。特に両年度に共通している《にじ》《思い出のアルバム》《さんぽ》《世界中のこどもたちが》《ともだちになるために》《にんげんっていいな》《勇気100%》の7曲はその代表曲であることが分かる。ここでもまた、新沢としひこと中川ひろたかの《にじ》《世界中のこどもたちが》《ともだちになるために》の3曲が登場している。《にじ》の回答数は89名でトップ、《世界中のこどもたちが》27名で4位、《ともだちになるために》24名で5位と非常に人気がある。

表15 一番好きな子どもの歌

順位	2012年度（107名）	人数	2013年度以降（119名）	人数
1	にじ	37	にじ	38
2	思い出のアルバム	10	思い出のアルバム	8
3	アイスクリームのうた	6	ともだちになるために	7
4	世界中のこどもたちが	6	あめふりくまのこ	6
5	さんぽ	5	世界中のこどもたちが	5
6	にんげんっていいな	4	アイスクリームのうた	5
7	ともだちになるために	3	さんぽ	3
8	あめふりくまのこ	3	うれしいひなまつり*	3
9	勇気100%*	3	にんげんっていいな	3
10	ビリーブ*	3		

\*印は両年度に共通していない曲を示す

表 16 比較表—子どもの時によく歌っていた歌と一番好きな歌

順位	子どもの頃によく歌っていた歌	2012 年	2013 年以降	計	一番好きな歌	2012 年	2013 年以降	計
1	さんぽ	20	18	38	にじ	37	38	75
2	思い出のアルバム	11	14	25	思い出のアルバム	10	8	18
3	ドレミの歌	10	14	24	アイスクリームのうた*	6	5	11
4	チューリップ*	12	9	21	世界中のこどもたちが	6	5	11
5	勇気 100%	9	8	17	ともだちになるために	3	7	10
6	にんげんっていいな	7	9	16	あめふりくまのこ	3	6	9
7	世界中のこどもたちが	7	8	15	さんぽ	5	3	8
8	ともだちになるために	8	6	14	にんげんっていいな	4	3	7
9	にじ	7	7	14	勇気 100%	3	2	5
10	ぞうさん*	6	5	11	ビリーブ**	3	1	4
11	あわてんぼうのサンタクロース*		7					
12	世界に一つだけの花*		7					
13	森のくまさん*		7					
14	バスごっこ*		7					
15	ふしぎなポケット*		7					
16	ちょうちょう*		7					

\*印は両年度に共通していない曲を示す \*\*印はテキストにない曲を示す

表 17 一番好きな子どもの歌テキストにない曲

ぼくのミックスジュース	ぼよん行進曲	世界がひとつになるまで*
ビリーブ	かいじゅうのバラード*	ちっちゃないちご
だんご三兄弟	くいしんぼおばけ*	Tomorrow (アニー)*
小さな世界	さよならぼくたちの保育園 (幼稚園)*	どんな色がすき
小さなにわ*	ジャングルぼっけ	泣いたあかおに*
はじめの歩	12 月だもん*	涙くんさようなら*
にじのむこうに*	すいかの名産地	

\*印は表 13 にない曲を示す

表 17 は、2013 年～2015 年度までの 3 年間の「1 番好きな子どもの歌」の回答曲中、テキストにない 20 曲をまとめている。3 節の表 13 では、「子どもの頃によく歌っていた歌」のテキストにない曲 113 曲を示したが、そこに含まれない \*印で示す 10 曲が新たに加わった。この内 NHK「おかあさんといっしょ」で歌われているのは、《ぼくのミックスジュース》《だんご三兄弟》《ぼよん行進曲》《くいしんぼおばけ》《ジャングルぼっけ》《にじのむこうに》《どんな色がすき》の 7 曲、《ビリーブ》は NHK 番組「生きもの地球紀行」のエンディングテーマ、《Tomorrow》はミュージカル「アニー」の主題歌である。新しい感覚の曲が含まれ、学生の好む曲の広がりや好きな歌へのこだわり、同時に時代の移行まで感じさせられる。2 重線は回答数 1 以下との区切りを示している。

## 6. 保育者になった時に子どもたちに伝えたい歌

まず「保育者になった時に子どもたちに伝えたい

歌」の概要を述べる。2012 年度の回答曲は全部で 98 曲、テキスト掲載曲とテキストにない曲についての内訳は不明である。表 18 に示す 10 曲以外に、5 名以下の回答曲が 78 曲あり、その中で 1 名のみの回答 56 曲は全体の 57% である。2013 年度以降の回答曲は全部で 81 曲、テキストの内訳は、テキスト掲載曲が 65 曲、テキストにない曲が 16 曲であった。表 18 に示す 16 曲以外に、5 名以下の回答曲が 65 曲あり、この中で 1 名のみの回答 21 曲は全体の 30% で、2012 年度の半分以下になっている。1 名の回答が半減し、6 名以上の回答数が増加しているのは、子どもたちに伝えたい歌が、表の曲にほぼ絞られていることを示していると考えられる。回答数は 2012 年度 144 名から 2013 年度以降 207 名と約 1.5 倍に増えている。保育者という設定によって学生の意識が高まって回答数が増え、よく考えて曲を選んでいくことが分かる。

次に上位の回答を比較して述べる。表 18 に示す通り、2012 年度の 1 位は《にじ》39 名、2 位《思い出

のアルバム》27名、3位《世界中のこどもたちが》14名である。この後に続くのは、4位《ともだちになるために》《さんぽ》各12名、5位《あめふりくまのこ》10名、6位《アイスクリームの歌》《シンデレラのスープ》《ドキドキドン！一年生》各8名、7位

《大きな古時計》6名、すべてテキスト掲載曲である。2013年度以降の1位は《にじ》で48名、2位は《思い出のアルバム》29名、3位は《ともだちになるために》25名であった。この後に続くのは、4位《あめふりくまのこ》15名、5位《世界中のこどもたちが》14

表18 保育者になった時に子どもたちに伝えたい歌

順位	2012年度生（107名）	人数	2013年度以降（平均119名）	人数
1	にじ	39	にじ	48
2	思い出のアルバム	27	思い出のアルバム	29
3	世界中のこどもたちが	14	ともだちになるために	25
4	ともだちになるために	12	あめふりくまのこ	15
5	さんぽ	12	世界中のこどもたちが	14
6	あめふりくまのこ	10	さんぽ	11
7	シンデレラのスープ	8	シンデレラのスープ	7
8	アイスクリームのうた	8	アイスクリームのうた	7
9	ドキドキドン！一年生*	8	勇気100%*	7
10	大きな古時計	6	南の島のハメハメハ大王*	7
11			きのこ*	7
12			大きな古時計	6
13			だから雨ふり*	6
14			にんげんていいな*	6
15			みんなともだち*	6
16			おはよう*	6
計	回答数 144 名		回答数 207 名	

\*印は両年度に共通していない曲を示す

表19 比較表－子どもの頃によく歌っていた歌・一番好きな歌・保育者になった時に子どもたちに伝えたい歌

順位	子どもの頃によく歌っていた歌	4年の合計	一番好きな歌	4年の合計	保育者になった時に子どもたちに伝えたい歌	4年の合計
1	にじ	14	にじ	38	にじ	87
2	思い出のアルバム	25	思い出のアルバム	18	思い出のアルバム	56
3	さんぽ	38	さんぽ	8	さんぽ	23
4	ともだちになるために	14	ともだちになるために	10	ともだちになるために	37
5	世界中のこどもたちが	15	世界中のこどもたちが	11	世界中のこどもたちが	28
6	にんげんていいな	16	にんげんていいな	7	にんげんていいな	6
7	勇気100%	17	勇気100%	5	勇気100%	7
8	ドレミの歌*	24	あめふりくまのこ*	9	あめふりくまのこ*	25
9	チューリップ*	21	ビリーブ**	3	シンデレラのスープ*	15
10	ビリーブ**	4	アイスクリームのうた*	11	アイスクリームのうた*	15
11	ぞうさん*	11	うれしいひなまつり*	3	大きな古時計*	12
12	あわてんぼうのサンタクロース*	7			ドキドキドン！一年生*	8
13	世界に一つだけの花*	7			南の島のハメハメハ大王*	7
14	森のくまさん*	7			きのこ*	7
15	バスごっこ*	7			おはよう*	6
16	ふしぎなポケット*	7			だからあめふり*	6
17	ちょうちょう*	7			みんなともだち*	6
18	ぶんぶんぶん*	7				
19	おもちゃのチャチャチャ*	7				

\*印は相互に共通していない曲を示す \*\*印は共通しておらず、テキストにない曲を示す

名, 6 位《さんぽ》11 名, 7 位《アイスクリームの歌》《シンデレラのスープ》《勇気 100%》《南の島のハメハメハ大王》《きのこ》各 7 名, 8 位《おはよう》《大きな古時計》《だから雨ふり》《にんげんっていいな》《みんなともだち》各 6 名であった。

2012 年度と 2013 年度以降を比較すると, 2013 年度は\*印の曲が増えている。両年度に共通する 9 曲と\*印の 8 曲を合わせた 17 曲を, 学生達が保育に相応しい歌として認識していると言える。中でも両年度に共通する 9 曲は最も大事な歌として考えていることが分かる。ここでも新沢としひこと中川ひろたかの 3 曲《世界中のこどもたちが》《にじ》《ともだちになるために》が登場し, 更に《だから雨ふり》《みんなともだち》が加わり 5 曲があがっている。これは 17 曲のほぼ 1/3 であり, 大きなウエイトだと言える。

表 19 に見るように, 「子どもの頃によく歌っていた歌」, 「一番好きな子どもの歌」, 「保育者になった時に子どもたちに伝えたい歌」の 3 表を比較すると, 2012 年～2015 年度までの 4 年間に 3 表に共通するのは 7 曲で, \*印のついた 3 表に共通しない曲が 27 曲, 2 つを整理して合わせると 30 曲であった。この 30 曲は学生の 2 年生の時点での経験と学習の蓄積の結果と言える。《にじ》の回答数は 3 表を合計すると 139 名で 1 位, 2 位は《思い出のアルバム》99 名, 3 位《さんぽ》69 名その後が続くのは, 4 位《ともだちになるた

めに》61 名, 5 位《世界中のこどもたちが》54 名, 6 位《にんげんっていいな》《勇気 100%》各 29 名であった。この 7 曲は幼児教育にふさわしい曲として学生たちに認識されていることがわかる。またこの中に, 新沢としひこと中川ひろたかの《世界中のこどもたちが》《にじ》《ともだちになるために》の 3 曲がふくまれており, 幼い頃からの音楽体験を通して保育にふさわしい歌として大切に考えていると思われる。アンケートを採った時期が 2 年生の 6 月なので, 入学して 1 年強の幼児教育の学びが反映されていること, また 1 年生の後期から観察実習や 2 年生から保育実習があるので, 指導者としての意識が磨かれつつあることがうかがえる。ちなみに《ビリーブ》以外は全てテキスト掲載曲であった

## 7. 弾き歌いの大事な 3 つのポイント

2012 年度の「弾き歌いの大事な 3 つのポイント」という設問に対する 3 名以上の回答は, 表 20 の 12 件である。2 名以下は不明である。2012 年度に合わせて 3 名以上の回答をまとめると, 2013 年度以降は 17 件であった。回答率が 11% から 15% に高まって, 弾き歌いの大切なポイントの気付きが増えている。また回答数も 252 件から 301 件に増えており, 前向きに取り組んでいる姿勢が感じられる。

2 章 7 節でまとめた 2014 年度と 2015 年度入学時ア

表 20 弾き歌いの大事な 3 つのポイント (3 名以上の回答)

順位	2013 年度以降 (119 名)	人数	2013 年度以降 (119 名)	人数
1	大きな声で歌う (伴奏よりも大きな声で)	59	大きな声で歌う (伴奏よりも大きな声で)	51
2	子どもの顔 (目) を見ながら歌う	57	間違っても弾き直さない	49
3	間違っても弾き直さない	52	子どもの顔 (目) を見ながら歌う	47
4	明るい笑顔で	32	明るい笑顔で	41
5	子どもが歌いやすい速さで伴奏する	16	楽しんで弾き歌う	29
6	楽しんで弾き歌う	11	子どもが歌いやすい速さで伴奏する	16
7	リズムを大切にする	6	元気に*	13
8	ピアノが弾ける・ピアノが大事*	5	「サンハイ!」の掛け声ををリズムよく	10
9	率先して歌い子どもをリードする	5	イメージ豊かに, 表情豊かに歌う	9
10	コードで弾ける*	3	リズムを大切にする	6
11	「サンハイ!」の掛け声ををリズムよく	3	伴奏を間違えず正確に弾く*	5
12	イメージ豊かに, 表情豊かに歌う	3	はっきりと歌う*	5
13			歌の雰囲気合った伴奏をする*	5
14			メリハリのある弾き歌いをする*	4
15			メロディーを間違えずにはっきり弾く*	3
16			率先して歌い子どもをリードする	3
17			子どもが興味を示し, 楽しみ好きになるように*	3
計	回答数 252 名		回答数 301 名	

\*印は両年度に共通していない件を示す



表 21 2013 年度以降 弾き歌いの大事な 3 つのポイント (2 名以下の回答)

1	確かな歌唱力 (音程)・子どもの手本になるように歌う	15	歌詞を覚える・歌詞を間違えない
2	手元ばかり見ない・ピアノに集中しすぎない	16	音楽の楽しさを子どもに伝える
3	歌詞の意味を知る・歌詞を伝える	17	丁寧に
4	余裕をもって弾く	18	子どもとコミュニケーションをとる
5	季節や状況に合わせた選曲・子供が親しみやすい選曲	19	伴奏のベース音をしっかり出す
6	子どもが歌いやすいように伴奏を工夫する	20	子どもが歌いやすいように調を変える
7	臨機応変に	21	声に変化をつける
8	歌詞おくり	22	息継ぎのタイミング
9	体が自然に動くように弾く	23	一定のテンポで
10	子どもと一体になる	24	楽器の楽しさを伝える
11	自信を持って歌う・恥ずかしがらず堂々と歌う	25	曲のジャンルにより歌い方や弾き方を変える
12	子どもの声を聴きながら	26	導入をしっかりとこなう
13	子どもの声の大きさに合わせて伴奏や歌声を調節する	27	レパートリーを増やす
14	歌詞を覚える・歌詞を間違えない		

アンケートでは、「ピアノや弾き歌いに対する質問と不安」について、ピアノ実技への不安が 79 件あがっていた。弾き歌いについての具体的なイメージがまだつかめていない入学時であるため、漠然とした回答になっている。この既知曲のアンケートは、1 年生後期の「器楽・声楽Ⅰ」でピアノや弾き歌いの授業をスタートし、2 年生前期の「器楽・声楽Ⅱ」に入ってから 2 か月が経過した時点で実施している。幼児教育の授業を経験しているため、それぞれに具体的な保育士・教師像をつかみ、覚悟が決まりつつあるのが分かる。\*印の付いていない項目は 2012 年度と 2013 年度以降に共通の項目であるが、この 10 項目は学生が弾き歌いを学びながら、日々心掛けていくポイントである。また、\*印の付いている項目からも学生達の意気込みが伝わってくる。

2012 年度の 2 名以下の回答データはないので、表 21 に 2013 年度以降の 2 名以下の回答 27 件をまとめた。右上から順に 2 名、1 名、1 名以下の区切りを 2 重線で示している。学生達が自分にとって最も大切なポイントを、授業や体験から学び、同時に着実に獲得しつつあることが分かる。大変頼もしい回答である。

3 節～7 節までの分析で明らかになったのは、「子どもの頃によく歌っていた歌」「一番好きな子どもの歌」「保育者になった時に子どもに伝えたい歌」の上位は、《ビリーブ》以外全てテキスト掲載曲であったことである。テキスト掲載曲の適切さと同時に、指導者が知っていてほしい歌を学生が保育に必要な歌としてきちんと認識している事に感心させられた。また複数回答の「子どもの頃によく歌っていた歌」「一番好きな子どもの歌」の回答数が非常に多く、その半分以上がテキストにない曲であった。「保育者になった時に子どもに

伝えたい歌」の回答は上位に集中し、よく考えた真面目な職業意識が感じられる。「弾き歌いの大事な 3 つのポイント」の回答件数は全部で 63 件、やはりよく考えた熱心な授業態度が感じられる。2012 年度から 2015 年度の学生の資質は年々向上し、今後も期待できる嬉しい結果であった。

#### IV まとめと考察

今回は、「学生の音楽学習経験」については 10 年分のデータを整理し分析した。「高校での音楽の履修」は 3 年間を通して音楽を履修した学生が、2014 年度と 2015 年度のデータのみであるが、24% という履修率は保育系のコースを設ける高校が増加傾向にあることを示しており、特記すべき事項であると思われる。今後の動向を見て行きたい。高校での音楽系クラブは、全体的に減少し経験者も減少傾向にある。年度ごとに単独で比較できるのは、吹奏楽部と合唱部のみであった。その中でも、吹奏楽部がほとんどを占めている。「器楽・声楽」の授業においても、そのクラブ経験が活かされているように感じる。読譜力などの音楽的基礎がすでに身に付いており、特に鍵盤楽器未経験者においては、クラブ経験の効果が感じられる。また、鍵盤楽器の学習経験者は全体の 8 割を占めており、保育者や教育者を目指すためには、鍵盤楽器の習得が必要不可欠であることを自覚していることを示している。「鍵盤楽器所持の状況」についても、2014 年度と 2015 年度のデータではあるが、約 9 割が自宅に鍵盤楽器を持っているという事実から、学生のほとんどが、家庭における音楽環境を有していることもわかった。2 割弱の学生は、鍵盤楽器未経験者であるが、

入学前や入学後にピアノの個人レッスンに通う者もいる。鍵盤楽器未経験者や経験の浅い学生は、ピアノに関する不安を 12 件あげており、課題意識を持っているとも言える。「使用教則本」については、鍵盤楽器経験者の約 9 割が、バイエルからブルグミュラー、ソナチネへと至る学習を経てきた傾向は、10 年間変わっていない。

既知曲に関しては、2012 年度の結果では、使用テキストの共通既知曲が約 3 割と少ないことがわかり、その後も減り続けると予想していた。急激な変化はないものの、下降傾向にあることは事実である。調査を続けたことで、今回の結果が得られたことは、大きな成果であり、今後も実態調査を続けることの大切さを痛感した。小学校共通教材曲に関しては、我々が当然知っていると思っていた曲を、習って来っていない学生が多いこともわかった。小学校の音楽の教科書の掲載曲にも J-POP が導入されたり、教科書以外の曲を教員が使う場合も多く、そのために小学校共通教材曲を習っていないということに、つながっているのではないと思われる。

今回の比較調査で、学生の子どもの歌の好みが明らかになった。それは、保育現場出身の新沢としひこや中川ひろたかの《にじ》《世界中のこどもたちが》《ともだちになるために》《だから雨ふり》《みんなともだち》が、学生に受け入れられやすい曲であることである。音域が歌いやすく、歌詞は話し言葉で書かれており、伴奏も比較的簡単であること。また、歌のテーマが生活に密着したものであることや、子どもの目線に立って歌が作られていることが要因であると考えられる。

「子どもの頃に歌っていた歌は誰に習ったか」という質問に対して、近年では親と歌ったという回答が 1 位となっていたが、これはとても貴重な結果である。仕事を持った母親が増えている昨今、家に帰ってからの子どもとの関わりの重要性を物語っているように思える。この結果は意外であったが、親達の子どもの大切な時間を過ごす意識が高まっているように感じられる。「一番好きな歌」や「保育者になった時に子どもに伝えたい歌」に関しては、比較的新しい子どもの歌が多い。既知曲のところで登場した新沢としひこや中川ひろたかの曲やアニメの曲などが多いことからわかるように、時代と共に移り変わっていつているようだ。保育・教育現場では、園長先生などの趣味趣向により、懐かしいが少し古い童謡などを歌っているところもあるが、時代の変遷とともに学生の好みも変化し

ている事実は否めない。今後も、学生の好みを通して子どもの歌がどう変化していくのか、調べて行きたい。また、唱歌や童謡の中には、後世に引き継いでいかなければならない歌が沢山あるので、使用テキストに掲載している曲をしっかりと指導していかなければならない。

今回の調査で、一番驚いたのは「弾き歌いで大事な 3 つのポイント」という質問である。これに対する学生の答えが増加し、内容が緻密になってきている。それだけ、保育・教育への目標やプロ意識を持って、授業に臨んでいることがわかる。我々は、学科設立以来、限られた授業時間の中で、学生一人一人の音楽的背景や実力を見ながら教員間で話し合いを行い、毎年授業の改革を行ってきた。その成果が、学生のピアノや弾き歌いに対する意識の向上を導いたように考える。

## V おわりに

今回の調査の分析により、学生の音楽的背景や既知曲の実態を分析することにより、ピアノや弾き歌いに対する意識も十分に把握することが出来た。学生の実態を把握し、授業の改善を重ね、個々に則した指導を行うことにより、学生との信頼関係も出来ている。また、学生自身も「器楽・声楽」で培った積極性や実行力を、他の音楽に関連する授業「保育内容の研究（音楽表現）」「初等教科教育法（音楽）」「保育の表現技術」で発揮することが出来ている。これは、これまでの我々の研究の成果の表れであると実感している。同時に、今後もこの研究を続けていかなければならないと考えている。また、学生の既知曲の変化も調査しながら、今後の子どもの歌の傾向をつぶさに把握することが重要であると、感じている。そして何より“音楽の楽しさを伝えられる学生”の育成を目指し、保育・教育現場でピアノや弾き歌いが生き生きとできるように、指導法を常に考え、音楽の楽しさを伝えなければならないことを、あらためて実感した。

研究は 4 名の共同研究で、執筆は分担で行った。各項の文責は、Ⅰは坂井、Ⅱ-1-2-3-4-5-6-7 は由井、Ⅲ-1-2・Ⅳ・Ⅴは衣川、Ⅲ-3-4-5-6-7 は山崎が担当した。

資料 1 は坂井、図 1～11 と表 1 は由井、表 2～11 と資料 3・4 は衣川、表 12～19 と資料 2 は山崎が作成した。

## 注

- 1) 吹奏楽には、マーチングバンドおよび市民吹奏楽団を含む。
- 2) 坂井康子・岡林典子・南夏世・山崎和子(2006)『幼稚園教諭，保育士，小学校教員をめざす人のためのピアノテキスト—歌おう♪弾こう♪こどもとともに』ヤマハミュージックメディア
- 3) 坂井康子・岡林典子・南夏世・佐野仁美(2008)『コードでかんたん！こどものうたマイレパートリー』ヤマハミュージックメディア

## マハミュージックメディア

- 4) 2012年度の研究と分析方法が異なるため，3節と7節で述べることができるのは上位のデータのみである。今後の研究につないでいくために，2013年度以降のデータはすべて分析して述べている。
- 5) 《ビリーブ》はNHK「生きもの地球紀行」のエンディングテーマである。卒業式の歌としてもよく歌われている。

## 資料 1

## 音楽学習経験等に関するアンケート

学番

名前

1. これまでの学校での音楽経験について

## ① 高校での音楽の授業

- ・選択しましたか?                      はい      いいえ  
 ・選択した人は何年生の時ですか?      1 年      2 年      3 年

## ② 小学校、中学校、高校での音楽関係のクラブ

- ・入っていましたか?                      はい      いいえ  
 ・入っていた人は、どんなクラブでしたか?

小学校 (                      )      中学校 (                      )      高校 (                      )

2. これまでの学校外での音楽経験について

## ① 経験した人はその種類と学習期間は?

- ・楽器                      期間  
 ・楽器                      期間  
 ・楽器                      期間  
 ・楽器                      期間

## ② 使用した教則本あるいは学習曲

- (      ) バイエル                      (      ) その他      \_\_\_\_\_  
 (      ) ブルグミュラー 2 5 番                      \_\_\_\_\_  
 (      ) ソナチネアルバム                      \_\_\_\_\_  
 (      ) ソナタアルバム                      \_\_\_\_\_

3. 演奏できる楽器と持っている楽器は?

① 演奏できる楽器      \_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

② 持っている楽器: 自宅に      \_\_\_\_\_  
    寮・下宿に      \_\_\_\_\_

4. 不安に思っていることや質問などがあれば書いてください

\_\_\_\_\_  
 \_\_\_\_\_

5. 出身地

\_\_\_\_\_  
    県                      市                      高校

資料 2

子どもの歌に関するアンケート

「音楽・声楽」の授業をより良いものにするために、アンケートに協力して下さい。  
あなたは現在使用している2冊のテキストの歌を、どのくらい知っていますか？以下の質問に答えて下さい。大学に入学するまでに知っていた歌、大学に入ってから知った歌それぞれに○をつけて下さい。  
(今もよく知らない歌には○なし)

曲名	歌いだし	大学以前に 知っていた	大学以後に 知った
ちょうちょう	ちょうちょうちょうちょう葉の葉に		
ぶんぶんぶん	ぶんぶんぶん蜂が飛ぶ		
ちゅうりっぷ	咲いた咲いたチューリップの花が		
森のくまさん	ある日森の中くまさんに出会った		
どんぐりころころ	どんぐりころころどんぐりこ		
大きなくりの木の下で	大きな栗の木の下であなたと私		
ふうせん	黄色い風船ルルルそっと風にあげたら		
小さな世界	世界中だれだって笑いあり涙あり		
こぶためきつねこ	こぶためきつねこ		
山の音楽家	わたしゃ音楽家のこりす		
やぎさんゆうひん	白やぎさんからお手紙書いた		
ハッピー・パースディ・トゥ・ユー	ハッピー・パースディ・トゥ・ユー		
春の小川	春の小川はさらさら行くよ		
こいのぼり	屋根より高いこいのぼり		
とけいのうた	コチコチカッチンお時計さん		
たばたさま	世の果さらさら軒端に揺れる		
うみ	海は広いな大きいな		
あわてんぼうのサンタクロース	あわてんぼうのサンタクロース		
お正月	もういくつ寝るとお正月		
うれしいひな祭り	ひりをつけましょぼんぼりに		
思い出のアルバム	いつのことだか思い出してごらん		
一ねんせいになったら	一年生になったら一年生になったら		
おつかいありさん	あんまり急いでコッソソコ		
そうさん	そうさんそうさんお鼻が長いのね		
アイアイ	アイアイアイアイおさるさんだよ		
あめふりくまのこ	お山に雨が降りました		
かわいいかくれんぼ	ひよこがねお鼻でヨチヨチかくれんぼ		
コンコンクシャンのうた	りすさんがマスクした		
山のフルツ	ずてきな山の幼稚園 9 時になると		
めだかの学校	めだかの学校は川の中		
バスごっこ	大型バスに乗ってます		
そうだったらいいのにな	そうだったらいいのにな		
おはけなんてないさ	おはけなんてないさおはけなんて嘘さ		
そらでえんそくしてみたい	青いお空はほくらの卵っぱ		
らしげなポケット	ポケットの中にはビスケットが1つ		
夕焼け小唄	夕焼け小唄けて日が暮れて		
さっちゃん	サっちゃんはおなちこって言うんだ		

曲名	歌いだし	大学以前に 知っていた	大学以後に 知った
おはよう	先生おはようみなさんおはよう		
お弁当	おべんとおべんと嬉しいな		
はなみがきまじょう	歯を磨きまじょうジュッシュジュツ		
せんせいとおともたち	先生とお友だち先生とお友だち		
おかたづけ	お片づけお片づけ		
ハッピー・パースディ・トゥ・ユー	ハッピー・パースディ・トゥ・ユー		
あくしてこんにちは	テクテクテク歩いて来て		
どこでねるの	どこで寝るのそうさん		
ともだちになるために	友だちになるために人は出会うんだよ		
きみとぼくのうらう	さよならなんて言わなくても		
みんなともだち	みんな友だちずっとずっと友だち		
ありがとうさよなら	ありがとうさよなら友だち		
ドキドキドン！一年生	桜咲いたら 一年生		
おはながわらった	お花が笑ったお花が笑った		
ありさんのおはなし	ありさんのお話し聞いたかね		
こどりのうた	小鳥はとっても歌がすき		
春の風	ルルルルルル ルルルルルル		
大きな古時計	大きなのっぽの古時計		
だから雨ふり	きのう緑のかえるがね		
にじ	庭のシャベルが一日ぬれて		
しゃぼんだま	シャボン玉飛んだ		
おほしさま	お星様ピカピカお話ししてる		
南の国のハメハメハ大王	南の島の大王はその名も偉大なハメハメハ		
アイスクリームのうた	おとぎ話の王子でも昔はとも食べられない		
いるかはざんぶらこ	イルカはザンブラコ		
こぎつね	こぎつねコンコン山の中		
もみじ	赤い赤いもみじの葉		
まつぼっくり	まつぼっくりがあったとき		
きのこ	きききのききききのこ		
まっかな秋	まっかだまっかだな		

たきび	垣根の垣根の曲がり角		
ゆげのあさ	おはようおはよう運氣が出る		
ゆき	雪やコンコンあられやコンコン		
ゆきのこぼろず	雪のこぼろず雪のこぼろず		
赤鼻のトナカイ	まっかなお鼻のトナカイさんは		
しずかなクリスマス	羊飼いはひつじと眠る		
きよしこの夜	清しこの夜星は光り		
ジングルベル	ジングルベルジングルベル鈴が鳴る		
お正月	もういくつ寝るとお正月		
まめまき	鬼は外福は内		
犬のおまわりさん	迷子の迷子の子ねこちゃん		
おもちゃのチャチャチャ	おもちゃのチャチャチャ		
さんぽ	歩こう歩こう私は元気		
シンデレラのスープ	チャチャチャカぼちゃのスープ		
ゆかいな牧場	一箇さんの牧場でイーアイイーアイ		
世界中のこどもたちが	世界中の子供たちが		
世界に一つだけの花	花屋の店先に並んだ		
動物園へいこう	動物園へ行こうよみんなで行こうよ		
ドレミの歌	ドはドーナツのド		
にんげっていいな	くまの子見ていたかくれんぼ		
ぶらんこ	ブランコ揺れてお空が歌うよ		
やまびこごっこ	山彦さんまねっこさん		
ミッキーマウス・マーチ	僕らのクラブのリーダーは		
勇氣 100%	がっかりしてメソメソして		
ゆりかごのうた	揺り籠の歌をカナリアが歌うよ		
かたつむり	でんでんむしむしかたつむり		
日のまる	白地に赤く日の丸染めて		
ひらいたひらいた	開いた開いたれんげの花が開いた		
かくれんぼ	かくれんぼするもの奪っといで		
春がきた	春が来た春が来たどこに来た		
虫のこえ	あれ松虫が鳴いている		
うさぎ	うさぎうさぎ何見て跳ねる		
茶つみ	實も近づく十八夜		
ふじ山	頭を雲の上に出し		
さくらさくら	桜桜先生の空は		
とんび	飛べ飛べとんび空高く		
まきばの朝	ただ一面に立ち込めた		
もみじ	秋の夕日に照る山もみじ		
こいのぼり	鳶の波と雲の波		
子もり歌	ねんねんころりよおころりよ		
スキーの歌	輝く日の影はゆる野山		
冬げしき	残雪消ゆる寒江の		
越天楽今様	春の弥生のあけぼのに		
おぼる月夜	星の花畑に入り目隠れ		
ふるさと	うさぎ思いしかの山		
われは海の子	我は海の子白波の		

- 1) 子どもの頃によく歌っていた歌は何ですか？その歌は誰に習いましたか？複数ある場合は、全部書いて下さい。2 冊のテキスト以外の曲でも結構です。<例> むすんでひらいて (母) >  
( )  
( )  
( )  
( )  
( )  
( )
- 2) 一番好きな子どもの歌は何ですか？2 冊のテキスト以外の曲でも結構です。  
( )
- 3) あなたが保育者になった時に、子どもたちに伝えたい歌は何ですか？複数ある場合は全部書いて下さい。  
( )  
( )  
( )  
( )  
( )  
( )
- 4) あなたが、弾き歌いで大事だと思うポイントを3つあげて下さい。  
( )  
( )  
( )
- 5) 卒業後は、どのような進路を希望しますか？下記に○をつけて下さい。複数回答も可能です。  
保育園 ( ) 幼稚園 ( ) 小学校 ( ) 施設など ( ) 子供関連企業 ( )

資料 3-1

大学以前に知っていた子どもの歌			
2012年度 (107名)			
曲名	人数	曲名	人数
あわてんぼうのサンタクロース	107	ドキドキドン！一年生	76
うみ(小学校共通教材曲)	107	まめまき	72
うれしいひな祭り	107	おつかいありさん	70
大きなくりの木の下で	107	バスごっこ	70
おもちゃのチャチャチャ	107	ひらいたひらいた(小学校共通教材曲)	68
お正月	107	さくらさくら(小学校共通教材曲)	67
さんぽ	107	もみじ(小学校共通教材曲)	67
ジングルベル	107	ともだちになるために	62
ちゅうりっぷ	107	アイスクリームのうた	59
ちょうちよう	107	とけいのうた	58
どんぐりころころ	107	まつぼっくり	58
ハッピー・バースディ・トゥ・ユー	107	ありがとうさよなら	57
ぶんぶんぶん	107	こたりのうた	56
森のくまさん	107	動物園へいこう	55
犬のおまわりさん	107	シンデレラのスープ	53
思い出のアルバム	107	われは海の子(小学校共通教材曲)	51
大きな古時計	107	あめふりくまのこ	49
アイアイ	106	おぼろ月夜(小学校共通教材曲)	49
一ねんせいになったら	106	みんなともだち	48
ぞうさん	106	ゆきのこぼろず	46
ドレミの歌	106	うさぎ(小学校共通教材曲)	44
こぶたぬきつねこ	105	かわいいうぐくれば	44
ふしぎなポケット	105	こいのぼり(小学校共通教材曲)	42
さっちゃん	105	おかたづけ	40
しゃぼんだま	105	かくれんぼ(小学校共通教材曲)	39
ゆき	105	とんび(小学校共通教材曲)	39
春がきた(小学校共通教材曲)	105	にじ	38
勇気100%	105	おはながわらった	36
にんげんっていいな	104	おはよう	35
ふるさと(小学校共通教材曲)	104	ふじ山(小学校共通教材曲)	35
ミッキー・マウス・マーチ	104	せんせいとおともだち	29
やぎさんゆうびん	104	ゆりかごのうた	27
タヤけ小やけ(小学校共通教材曲)	104	きのこ	26
かたつむり(小学校共通教材曲)	103	コンコンクシヤンのうた	25
きよしこの夜	103	はをみがきましょう	21
こいのぼり	103	やまびこごっこ	21
めだかの学校	103	ありさんのおはなし	20
たきび	101	山のワルツ	20
山の音楽家	100	春の風	18
おべんとう	99	日のまる(小学校共通教材曲)	16
こぎつね	99	まきばの朝(小学校共通教材曲)	16
世界に一つだけの花	99	いるかはざんぶらこ	14
虫のこえ(小学校共通教材曲)	99	おほしさま	13
南の島のハメハメハ大王	98	きみとぼくのラララ	13
ゆかいな牧場	98	しずかなクリスマス	11
世界中のこどもたちが	96	スキーの歌(小学校共通教材曲)	9
たなばたさま	96	あくしゅでこんにちは	8
小さな世界	94	ふうせん	8
赤鼻のトナカイ	93	冬げしき(小学校共通教材曲)	8
おばけなんてないさ	87	だから雨ふり	6
もみじ	87	そらでえんそくしてみたい	5
子もり歌(小学校共通教材曲)	85	ゆげのあさ	5
そうだったらいいのにな	83	越天楽今様(小学校共通教材曲)	4
春の小川(小学校共通教材曲)	83	どこでねるの	4
茶つみ(小学校共通教材曲)	78	ぶらんこ	3
まつかな秋	78		

※無地は「歌おう♪弾こう♪こどもとともに」、グレー地は「マイレパートリー」の

掲載曲を示す。全111曲。

※2重線は、10%ごとの区切りとしている。

## 資料 3-2

## 大学以前に知っていた子どもの歌

2013年度以降(119名)			
曲名	平均	曲名	平均
アイアイ	119	バスごっこ	78
あわてんぼうのサンタクロース	119	ひらいたひらいた(小学校共通教材曲)	78
うれしいひな祭り	119	そうだったらいいのにな	77
お正月	119	ともだちになるために	77
ちゅうりつぷ	119	ドキドキドン！一年生	73
ハッピー・パースディ・トゥ・ユー	119	ゆかいな牧場	73
ぶんぶんぶん	119	まめまき	69
うみ(小学校共通教材曲)	118	さくらさくら(小学校共通教材曲)	64
大きなくりの木の下で	118	おかたづけ	62
ぞうさん	118	うさぎ(小学校共通教材曲)	61
ちようちよう	118	こりのうた	59
ドレミの歌	118	あめふりくまのこ	58
どんぐりころころ	118	ありがとうさよなら	57
森のくまさん	118	おつかいありさん	55
一ねんせいになったら	117	ゆきのこぼろず	54
ジングルベル	117	みんなともだち	51
思い出のアルバム	116	にじ	46
おもちゃのチャチャチャ	116	アイスクリームのうた	45
かたつむり(小学校共通教材曲)	116	われは海の子(小学校共通教材曲)	45
さんぽ	116	おぼろ月夜(小学校共通教材曲)	42
にんげっていいな	116	かわいいうかくれんぼ	42
世界に一つだけの花	116	動物園へいこう	40
大きな古時計	116	おはながわらった	39
赤鼻のトナカイ	115	かくれんぼ(小学校共通教材曲)	39
犬のおまわりさん	115	どけいのうた	38
こいのぼり	115	おはよう	37
勇気100%	115	きのこ	37
ゆき	115	こいのぼり(小学校共通教材曲)	35
しゃぼんだま	114	せんせいとおともだち	33
たなばたさま	114	ふじ山(小学校共通教材曲)	32
春がきた(小学校共通教材曲)	114	コンコンクシヤンのうた	30
ふしぎなポケット	113	はをみがきましょう	30
きよしの夜	112	とんび(小学校共通教材曲)	28
ふるさと(小学校共通教材曲)	112	ゆりかごのうた	25
ミッキー・マウス・マーチ	112	きみとぼくのラララ	20
めだかの学校	112	ありさんのおはなし	19
やぎさんゆうびん	112	いるかはざんぶらこ	18
さっちゃん	111	まきばの朝(小学校共通教材曲)	18
こぎつね	108	山のワルツ	18
こぶたぬきつねこ	106	しずかなクリスマス	15
世界中のこどもたちが	106	シンデレラのスープ****	15
夕やけ小やけ(小学校共通教材曲)	106	日のまる(小学校共通教材曲)	15
虫のこえ(小学校共通教材曲)	105	やまびこごっこ****	14
おばけなんてないさ	102	春の風	13
南の島のハメハメハ大王	99	おほしさま	12
たきび	97	あくしゅでこんにちは	11
山の音楽家	97	ゆげのあさ	9
おべんとう	96	だから雨ふり	8
小さな世界	93	冬げしき(小学校共通教材曲)	8
まっかな秋	90	越天楽今様(小学校共通教材曲)	6
茶つみ(小学校共通教材曲)	89	スキーの歌(小学校共通教材曲)	6
子もり歌(小学校共通教材曲)	87	そらでえんそくしてみたい	5
春の小川(小学校共通教材曲)	85	ふうせん	5
まつぼっくり	85	ぶらんこ	5
もみじ	81	どこでねるの	3
もみじ(小学校共通教材曲)	81		

※無地は「歌おう♪弾こう♪こどもとともに」、グレー地は「マイレパートリー」の掲載曲を示す。全111曲。

※2重線は、10%ごとの区切りとしている。

## 資料 4-1

## 大学以後に知った子どもの歌

2012年度(107名)			
曲名	人数	曲名	人数
ふうせん	99	子もり歌(小学校共通教材曲)	16
だから雨ふり	92	そうだったらいいのにな	14
いるかはざんぶらこ	91	茶つみ(小学校共通教材曲)	13
ありさんのおはなし	88	春の小川(小学校共通教材曲)	13
しずかなクリスマス	86	おぼけなんてないさ	12
きのこ	80	もみじ(小学校共通教材曲)	11
おはながわらった	69	赤鼻のトナカイ	10
にじ	64	世界中のこどもたちが	10
日のまる(小学校共通教材曲)	62	たなばたさま	9
スキーの歌(小学校共通教材曲)	56	小さな世界	9
越天楽今様(小学校共通教材曲)	54	南の国のハメハメハ大王	8
おほしさま	53	虫の声(小学校共通教材曲)	7
ゆげのあさ	53	こぎつね	6
あめふりくまのこ	52	山の音楽家	6
そらでえんそくしてみたい	51	おべんとう	4
ふじ山(小学校共通教材曲)	51	世界に一つだけの花	4
こりのうた	50	こいのぼり	3
冬げしき(小学校共通教材曲)	50	ゆかいな牧場	3
ぶらんこ	50	きよしこの夜	2
やまびこごっこ	50	しゃぼんだま	2
ゆきのこぼろず	50	たきび	2
きみとぼくのラララ	49	にんげんっていいな	2
まきばの朝(小学校共通教材曲)	49	ふるさと(小学校共通教材曲)	2
はをみがきましよう	48	ミッキーマウスマーチ	2
まつぼっくり	47	めだかの学校	2
山のワルツ	47	やぎさんゆうびん	2
シンデレラのスープ	46	ゆき	2
とんび(小学校共通教材曲)	46	アイアイ	1
コンコンクシャンのうた	45	一ねんせいになったら	1
とけいのうた	45	思い出のアルバム	1
ゆりかごのうた	45	こぶたぬきつねこ	1
あくしゅでこんにちは	44	さっちゃん	1
かくれんぼ(小学校共通教材曲)	44	ぞうさん	1
どこでねるの＊	44	春が来た(小学校共通教材曲)	1
春の風	44	勇気100%	1
せんせいとおともだち	42	夕やけ小やけ(小学校共通教材曲)	1
アイスクリームのうた	41	あわてんぼうのサンタクロース	0
われは海の子(小学校共通教材曲)	41	犬のおまわりさん	0
うさぎ(小学校共通教材曲)	40	うみ(小学校共通教材曲)	0
こいのぼり(小学校共通教材曲)	40	うれしいひな祭り	0
もみじ	40	大きなぐりの木の下で	0
おはよう	37	大きな古時計	0
動物園へいこう	37	おもちゃのチャチャチャ	0
かわいいかくれんぼ	35	お正月	0
まめまき	35	かたつむり(小学校共通教材曲)	0
おぼろ月夜(小学校共通教材曲)	33	さんぽ	0
おつかいありさん	29	ジングルベル	0
ありがとうさよなら	28	ちゅうりつぷ	0
ドキドキドン！一年生	27	ちょうちよう	0
おかたづけ	26	ドレミの歌	0
バスごっこ	26	どんぐりころころ	0
まつかな秋	26	ハッピー・バースディ・トゥ・ユー	0
ともだちになるために	22	ふしぎなポケット	0
みんなともだち	22	ぶんぶんぶん	0
さくらさくら(小学校共通教材曲)	21	森のくまさん	0
ひらいたひらいた(小学校共通教材曲)	20		

※無地は「歌おう♪弾こう♪こどもとともに」、グレー地は「マイレパートリー」の

掲載曲を示す。全111曲。

※2重線は、10%ごとの区切りとしている。



## 資料 4-2

## 大学以後に知っていた子どもの歌

2013年度以降(119名)			
曲名	平均	曲名	平均
シンデレラのスープ	101	ゆかいな牧場	22
ありさんのおはなし	97	そうだったらいいのにな	21
だから雨ふり	92	おべんとう	19
いるかはざんぶらこ	89	さくらさくら(小学校共通教材曲)	19
せんせいとおともだち	81	春の小川(小学校共通教材曲)	18
きのこ	79	南の島のハメハメハ大王	18
おはよう	76	茶つみ(小学校共通教材曲)	14
おはながわらった	73	おぼけなんてないさ	12
はをみがきましょう	73	こぎつね	10
あくしゅでこんにちわ	70	子もり歌(小学校共通教材曲)	10
しずかなクリスマス	65	世界中のこどもたちが	9
にじ	65	たきび	7
ゆきのこぼろず	62	小さな世界	7
とけいのうた	61	山の音楽家	7
ふうせん	61	夕やけ小やけ(小学校共通教材曲)	7
ゆげのあさ	56	ミッキー・マウス・マーチ	5
アイスクリームのうた	52	あわてんぼうのサンタクロース	4
おかたづけ	52	きよしこの夜	4
おほしさま	52	こぶたぬきつねこ	4
きみとぼくのラララ	51	にんげっていいな	4
ことりのうた	50	ふしぎなポケット	4
春の風	50	ふるさと(小学校共通教材)	4
動物園へいこう	50	虫のこえ(小学校共通教材)	4
あめふりくまのこ	49	思い出のアルバム	3
そらでえんそくしてみたい	48	こいのぼり	3
どこでねるの	46	世界に一つだけの花	2
まめまき	45	ぞうさん	2
山のワルツ	45	どんぐりころころ	2
日のまる(小学校共通教材曲)	43	春がきた(小学校共通教材曲)	2
ふじ山(小学校共通教材曲)	42	アイアイ	1
ぶらんこ	42	赤鼻のトナカイ	1
コンコンクシャンのうた	41	犬のおまわりさん	1
越天楽今様(小学校共通教材曲)	40	うみ(小学校共通教材曲)	1
冬げしき(小学校共通教材曲)	40	うれしいひな祭り	1
スキーの歌(小学校共通教材曲)	39	大きなくりの木の下で	1
まきばの朝(小学校共通教材曲)	39	大きな古時計	1
とんび(小学校共通教材曲)	36	おもちゃのチャチャチャ	1
やまびこごっこ	36	さっちゃん	1
ゆりかごのうた	36	しゃぼんだま	1
ともだちになるために	35	たなばたさま	1
おぼろ月夜(小学校共通教材曲)	33	ちゅうりっぷ	1
みんなともだち	33	やぎさんゆうびん	1
うさぎ(小学校共通教材曲)	32	一年生になったら	0
かくれんぼ(小学校共通教材曲)	32	お正月	0
まつぼっくり	32	かたつむり(小学校共通教材曲)	0
われは海の子(小学校共通教材曲)	32	さんぽ	0
ありがとうさよなら	31	ジングルベル	0
ドキドキドン！一年生	30	ちょうちょう	0
もみじ(小学校共通教材曲)	30	ドレミの歌	0
こいのぼり(小学校共通教材曲)	29	ハッピー・バースディ・トゥ・ユー	0
かわいいかくれんぼ	29	ぶんぶんぶん	0
おつかいありさん	27	めだかの学校	0
バスごっこ	27	森のくまさん	0
まつかな秋	24	ゆき	0
もみじ	24	勇気100%	0
ひらいたひらいた(小学校共通教材曲)	23		

※無地は「歌おう♪弾こう♪こどもとともに」、グレー地は「マイレパートリー」の

掲載曲を示す。全111曲。

※2重線は、10%ごとの区切りとしている。